京城日報
十日夕刊

米獨墺絶交後の形勢

▲支那の態度決定 米國と同一行動を執らん

支那政府は九日午後六時獨逸公使ヒンツェ氏に對し獨逸の通牒に抗議し同時に米國に對しては將來同一の行動を執るべき旨の回答を爲せり(倫敦電報)

▲支那も獨逸に抗議す 國交斷絶に至らん

支那政府は當地駐在獨逸公使に本國へ送致す可き通牒を手交せるが同通牒は獨逸の潜航艇戰に關する宣言に對し抗議せるものにして右宣言の實行を見る場合支那は獨逸との國交を斷絶せざるを得ざる可しと確言せり(北京特電)

▲諾威の米國交渉拒絶

諾威政府は米國大統領の對獨行動に關する交渉を拒絶しスカンヂナヴキア各王國一致の態度を執るべく協議中なりと(紐育電報)

▲西國政府の中立維持

西班牙は中立を抛棄せざるに決せり然れども商船に對する獨逸の潜航艇攻撃に對しては極力抗議を試むると共に自國の利益と體面を保つに當つては斷乎たる決心を以てすべしと(倫敦電報)

▲駐獨米大使の人質 在留米國人も共に

コペンハーゲン來電＝駐獨米大使ゼラード氏は伯林より打電して曰く自分及び在留米國人は孰れも駐米獨大使館ベルンストルフ伯及び獨逸臣民が商船に搭乗し米國を出發する事の保障を受くる迄人質として抑留されたりと(倫敦電報)

▲米汽船の外國轉籍禁止

華盛頓來電＝大統領ウヰルソン氏は米國船主が所有汽船を外國に轉籍せしむるを禁止すとの布告を出せり(紐育電報)

◎富總領事歸任

京城駐在支那總領事富士英氏は東京よりの歸途十日朝高麗丸にて釜山に着午前十時半發列車にて京城へ向ふ(釜山特電)

◎英の支那人夫募集 山東より一萬人

英國政府は濟南領事に三箇月內に青島、芝罘方面に於て支那人夫一萬人を募集すべきを命じたり此等人夫は英國諸工場に從事する者にて英政府は彼等の食費旅費一切を辨じ更に各自月手當十二元及び家族費十元宛支給の契約にて募集の上は青島か威海衛に集中の上英國に輸送する筈にて若し好結果ならば更に第二回の募集を爲すべし此れに就きては已に青島日本軍司令官の承認を得山東鐵道及び大連汽船等に指運賃割引の協定成れりと(北京)

◎太沽新砲臺建設

支那程海軍總長は太沽に於ける新式砲臺建設案を立て國務會議に提出せんとせるが氏は國防上の要務として之れが急設を熱心に主張し國務會議通過を待ちて各國に向つて庚子條約中の太沽砲臺建設禁止の條項削除を交渉する意見なりと(北京)

◎總督佳節受賀

二月十一日は紀元の佳節に就き長谷川總督は同日午前十一時總督官邸に於て總督府並に京龍在所屬官署の勅任官、總督府官房及び各部局長等官三等以下並に判任官各總代、李王職主要職員、中樞院副議長、顧問、贊議、朝鮮貴族等の祝賀を受く可く、又た所屬官署の長官は各自の官署員より祝賀を受けたる後總督官邸に參集其の旨總督に申報の筈なり

◎紀元節と總監部

十一日の紀元節に於ける憲兵隊司令部及び警務總監部の祝賀式次第は左の如し

午前十時三十分司令部總監部在勤の無位無勳判任官同待遇者一同の參賀を受く

次で總監部高等官判任官同待遇者各總代の祝賀を受く

次に京畿道警務部長の祝賀申報を受く

◎紀元節と陸軍

▲軍司令官官邸 駐剳軍司令官秋山大將は十一日午前十時より軍司令部判任官以上の無位無勳者の參賀を受くべく有位帶勳者は直ちに賀表を差出す由尙ほ十日朝判軍司令官が判任官以上を招待する旨報せしは誤りなり

▲師團司令部 第十九師團長立花小一郎中將は十一日午前十時より司令部職員中判任官以上の無位無勳者の參賀を受く

▲第七十九聯隊本部 步兵第七十九聯隊本部にては十一日午前十時より池內時和聯隊長聯隊にて下士の參賀を受く

◎勳章傳達式

十日午前十時より總督府總督室に於て勳章傳達式を擧行し長谷川總督より左記諸氏に對し頭書の如く其々勳章を傳達したり

勳三等瑞寶章 中樞院贊議 劉猛
勳六等瑞寶章 總督府秘書 水野正之丞
勳六等瑞寶章 同 永島雄藏
勳六等瑞寶章 京畿道警務部警部補 瀬川平造

◎特別評議員任命

京城商業會議所特別評議員は過般既に任命を見たるが仁川外七箇所に於ける商業會議所特別評議員も亦た二月九日附を以て左の通り任命ありたり

▲仁川商業會議所
仁川稅關長 櫻井小一
朝鮮銀行仁川支店長 龜島豊治
仁川府參事 張錫術
仁川府協議會員 鄭鶴朝

▲木浦商業會議所
朝鮮銀行木浦支店長 上田直彥
十八銀行木浦支店長 森川鎭吉

▲釜山商業會議所
朝鮮銀行釜山支店長 福永政治郎
朝鮮水產組合長 石井光雄
朝鮮郵船會社釜山支店長 大原庄太郎
大阪商船釜山支店長 石垣孝治

▲群山商業會議所
群山米穀檢查所長 宮地時達

▲大邱商業會議所
山本尋己
礒部謙哉
中錫雨

▲鎭南浦商業會議所
小倉武之助
加藤一郎
森英逸

▲平壤商業會議所
平壤電氣株式會社長 宮川五郎三郎
平安農工銀行支配人 中西嘉久男
平壤府協議會員 金能元

▲元山商業會議所
久原鑛業所長 原田穰
道參事府協議會員 小瀧之司
林紹敦

▲成鏡商業會議所
咸鏡農工銀行支配人 矢鍋永三郎
朝鮮銀行元山支店長 山本好□
久我潤臣

◎軍醫部長巡視

朝鮮駐剳軍司令部軍醫部長軍醫監佐藤恒丸氏は二等軍醫瀧田次郎氏を隨へ八日午後七時着列車にて來釜直に東萊に到り蓬萊館に投宿九日同地陸軍轉地療養所を視察し十日釜山に引返し陸軍運輸部釜山支部、釜山守備隊、憲兵分隊を視察し同夜は再び東萊に赴き宿泊し十一日午前釜山鎭より乘車馬山鎭海に向ふ筈なり(釜山)

◎光化門電車線

總督府にては目下景福宮內にて工事中の總督府新營廳舍事業の進捗に伴ひ木材、土砂、煉瓦其他建築材料の搬入頻繁となる可きにより京城電氣會社に交渉の上光化門前停留所より景福宮門內の工事現場に至る電車線路を新に敷設せしめ漢江川岸よりの土砂及び南大門驛等よりする各種材料の運搬用に充てしめんとし目下內々協議中の由なり若し實行すると決定せば來る四月の解氷期頃より實施さるべきものなれども運搬には勢ひ光化門停留所と南大門或は龍山方面との間に於ける普通線路を使用すること、なる可きにより自然一般客車の運轉系統に多大の影響を及ぼす可ければ容易に決定を見ざるやうなれども尙已を得ずんば夜間の或る時間に於て貨物の運轉を行ふこと、なるべし而して光化門の臨時線は夜間には運轉回數を少くして一般乘客の取扱ひをも爲すに至るべきやに仄聞せり

◎米獨斷交と倫敦 長期取引は見合

七日倫敦發三井物產京城支店入電によれば米獨國交斷絶後も倫敦に於ける商工業界は多大の影響を蒙らざるも一般に時局の成行を氣遣ひ長期の取引契約を見合せ居れり金融は幾分引締りを呈し國交斷絶の報と共に低落したる株式及び綿の價段は漸次恢復しつゝあり

▲上海保險率騰貴

米獨の國交斷絶の結果倫敦に於ける戰時保險率は一般に三パーセント以上騰貴し保險料率はスエズ通過線日本汽船一割三分同英國汽船一割五分となれり

◎朝鮮製粉と平壤

朝鮮製粉株式會社創立に就ては曩に東電のまゝ轉載する處ありしが其發起人は

川上佐介、田中常助、鶴岡宇八、山下秀實、山中隆之助、緖方正雄、山口誠太郎、秋山高砂、前川長衛、吉賀三千人、岩部重治、淵瀨軍之佐

の十二氏にて一月二十日朝鮮會社令に依る施行細則に準據し總督府に創立申請書を提出し同時に東京市芝區田町一丁目一番地に創立事務所を設置せり總資本金は一百萬圓にて之れを株式組織とし一株五十圓總株數二萬株の中、一萬二千五百株は發起人に於て引受他は公募に附し四分の一拂込即ち二十五萬圓にて事業を開始する計畫なるが本事業に於ては發起人の一人たる淵瀨軍之佐氏が創立に關する一切の事務を調査し且つ當所報の如く滿洲より歸東の途次朝鮮を通過し總督府當局とも打合を了したりと云へば前途有望の事業として不日許可の指令あるべく豫期されつゝあり創立趣意書、事業目論見書、收支計算書、定款等によれば本社を朝鮮に置き出張所を東京に設立するもの、如く工場設置地點は未だ明記し居らざるも更に聞く處によれば既電の如く本社は愈々平壤に設置すべく決定せるやにて右に付き創立許可申請書は八日本府より道廳に廻附し來り道は府廳の經由を經て改めて本府に進達すべしと尙ほ工場設置の地點は未だ聽く所なきも彼の甜菜製糖會社と一種の聯鎖を有するの嫌もあれば作業の便宜上製糖工場と同一地點に設置するならんと云ふものもあり(平壤)

◎製糖株新申込

既報朝鮮製糖株式會社の平壤方面に對する特別株式公募の旨を報道するや九日午前中より續々商業會議所に應募の手續の問合せあり午後に及び遠藤忠次郎氏三十株、淺井佐一郎氏五十株の引受申込みありしが仍ほ山根政治、林長太郎氏其他二三の希望者もあるよし製糖株式頗る好況なりと謂ふべし(平壤)

◎咸南客年豆產

大正五年中咸鏡南道に於ける豆類の作況を見るに概ね天候の適順なりしのみならず當局の奬勵宜しきを得冬季農閑期を利用して特に大豆種子の精選を實施するもの多かりし爲めに一般に増收を示せるもの、如し即ち大豆は作付反別四萬五千一百八町四反收穫高二十八萬三千五百八十七石小豆は作付一萬六千九百二十九町四反收穫六萬七千四百七十四石綠豆は作付二百五十三町五反收穫八百三十七石其他の作付八百八十四町九反收穫三千八百四十四石にして總作付反別六萬三千一百七十六町五反總收穫高三十五萬五千七百四十一石を算し一反步の收穫高は大豆六斗二升八合、小豆三斗九升八合、綠豆三斗三升の割合となり居れり(元山)

◎木浦客月金融概況

客月中の金融概況は舊臘來落着を來したる米價は年越と共に再び好氣配に轉じ新規輸出約定も相當に取結ばれたるが如く搆て船腹不足の爲め遲延せる既約束の積出も漸次進捗し荷替の取組相應に頻繁を呈せしも一方綿の出廻りは客臘以來の時化を受け加ふるに中旬以後は內地期米の暴落のため稍々下押歩調に轉じたれば賣許も爲めに入氣沮喪し剩へ大阪埠頭の滯貨は其後益々増加を告げ需要漸次閑散に陷りたるが如く此方面の資金の需要は比較的少なく所謂自然新規注文を手控ゆるに至りたる爲め本月に入りては出廻り益々減じ綿花は陸續の如く作柄不良の爲め本月に入りては出廻りの共同販賣所も當月に至りて至大の部分の引揚を了せる程なるを以て新規買付資金の需要見るべきものなかりしが上中旬日運丸の廻航に依り相當多額の積出し行はれしかば此方面の資金亦逐次回收さるゝに至れり又た移入界にありては下旬舊正月に相當せしこともて鮮人向春著用被服材料及び諸雜貨の賣行相應にありしも概して當地方一般の經濟は茲數年間に於ける移出方面の比較的好況を持續せるに不拘未だ資源の涵養充分ならざるにや購買力思ひの外振はずして市況無活氣の感あるを免れず要之當地方の金融は新春と共に大勢回收に轉じ漸次閑散の域に進みつゝあるものにして之を當店貸出金に就て見るも上旬百十萬を最高として逐次遞減月末三十七萬圓に低下するに至り又以て大勢を窺知するを得べし(鮮銀調)

◎平壤主要輸移出

昨五年中に於ける平壤輸移出貿易の主要物及び數量價格を擧ぐれば牛皮七十四萬一千三十三斤此價格三十六萬三千六百六十三圓大豆四千三百五十斤此價格二萬三千七百五十四圓を最多とし之れに次ぐは醬油の八千餘圓果實の八萬九千四百二十斤此價格一千百六十三圓玄米の百石此價格一千圓等なり牛皮大豆其他は內地行醬油果實及び種子は安東縣への輸出にて果實は概して苹果なり(平壤)

◎元山學校組合豫算

豫て編成中なりし元山學校組合來年度豫算は全部完了し道廳の承認手續を申請したる由近く認可指令の到達と同時に組合會に上議せらるゝ筈也

仁川

▲發起人勸誘 今回朝鮮製□株式會社創立に於て企畫されつゝ有る朝鮮□□□氏より仁川有力者に宛て同會社發起人の勸誘狀を發したり ▲慰問金募集 德川院長より仁川商業會議所へ在軍傷病兵慰問の爲め一人十錢以上寄附ありたき旨協力依賴狀來れり ▲津山產業博覽會 津山產業協會の主催にて來る四月廿日より五月二十九日迄三十日間岡山公園に產業博覽會を催ほす可く仁川にも出品方勸誘し來れり ▲銀杯下賜 仁川米豆取引所にては嘗て仁川神社建築費中に金五百圓獻納したるを以て今回銀杯一個下賜されたり ▲鹿兒島縣人會 仁川居住鹿兒島縣人は十七日午後六時より八阪に於て縣人會を催ほす由會費一圓五十錢 ▲櫻井稅關長上京 仁川稅關長櫻井小一氏は十日上京事務打合せの爲め同日歸任の筈

平壤

▲商議月報と金融一斑 平壤銀行團の五賀會にては豫て平壤金融一斑なる月刊雜誌を刊行し各官衙、會社、公共團體及び重なる實業家に無料頒布し居れるが昨秋創立の商業會議所發行の月報が號を重ねるに伴ひ內容外觀並びて漸く面目を一新し經濟及び商工業の記事大に見るべきものあるより右同一の使命を有する金融一斑の刊行は議論徒勞に屬する嫌ひあるに付き今回協議の末強ひて續刊の必要なかるべく二月より廢刊する事に內決し同時五賀會の調查材料は商議月報に掲出する事としたるが何れ商業會議所に對しては之れが正式的の交渉を開始すべく斯て五賀會は調查材料掲出の關係上所要の部數を要求すると同時に若干印刷費補助として提供すべし ▲學藝品展覽會 公立平壤高等女學校に於ては二月十一日午前十時より第一回成績品展覽會を開會すべしとて生徒の父兄及び官民有志者間に案內をなせり ▲渡邊女子高等普通學校長病狀 平壤女子高等普通學校長渡邊春藏氏は舊臘來風邪に罹り爾來肺炎に變症し療養中なるが昨今餘程快方に向ひ近々の內より出勤すべしと ▲製鐵所技師來壤 八幡製鐵所技師鵜崎新吾氏は二月八日來壤旅館柳屋に投宿せり

元山

▲旅團長行軍視察 今回元山北青間五十餘里に亙り行はれたる步兵第七十四聯隊寒中行軍狀況視察の爲め南行中なりし大村旅團長は副官一名を隨がへ八日午後零時二十分鐵路來元し大東館に一泊の上九日北行の立神丸にて歸任したり ▲寒中行軍隊歸著 既報五日出發今回の寒中强行軍に參加したる步兵第七十四聯隊第三大隊(元山)は同行軍の終了と共に八日午後三時無事歸著したるが佐竹大隊長以下悉く元氣頗る旺盛なり ▲咸南勞働者近狀 咸南一般勞働者は本年に入りて以來珍らしき寒氣の繼續したる爲め屋外勞働者は殆んど就く能はずして收入數日に亙り皆無となり擔軍、仲仕、傭夫等の如き生活難に苦しむもの少からず中には家族より食事の供給を停止され或は惡く減食の上辛じて日を送るものを見るに至れり ▲軍人分會寄附 在鄕軍人元山分會特別會員村上金□、地卓傳氏外四十餘名は金五十圓を同分會基本財產中へ寄附したりと

光州

▲來年度本道新事業 來年度に於て本道の新規事業は山野整理の終了すべき五郡の各面に對し林業組合を組織し稚樹の保育及び造林を爲さしめ十二郡に對して畜產組合を組織して各郡に畜產技術員を置き一般畜產の獎勵と保護牛の選定を爲さしめ又た米種の種子更新を計畫し米は五年每棉は七年每に全部更新し行くべき計畫なる由 ▲選擇出品發送 東京に於て催さるゝ選擇出品展覽會に本道より出品すべきは朝鮮棉五百本、陸地棉五百本、國屑五百本、標本、槲袖三斗、御傭二十本、又木浦檢米所標準米、農產物五點等にて何れも十五日迄に發送を終る筈なり ▲各種技術員會議 本道廳にて來る二月廿一日より廿五日迄各郡の農蠶、棉各技術員を廿五日より廿八日迄水產及び畜產各技術員を召集して各々會議を開く筈なりと ▲浦野憲兵分隊長檢閱 浦野光州憲兵分隊長は八日出發管內分隊分遣所を檢閱の筈にて十八日歸任の筈なり ▲醴水郡生產品評會 四日醴水郡生產品評會終了せしが入賞せしは總點數六千六百十二點中特等二點一等十八點二等九十三點三等二百廿九點四等七百八十一點計一千百二十三點なりと

大邱

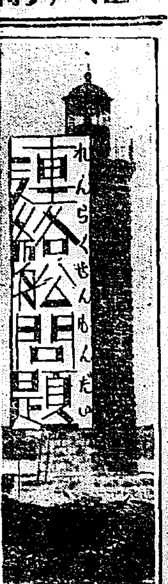
▲林野整理調查施行 慶尙北道にては林野整理調查を達城郡より開始すべく守田林業主任は達城郡廳に於て新測量手の講習をなし八日より夫々調查測量に著手せり ▲服部警務部長視察 慶尙北道警務部長服部大佐は迎日灣に於ける鰊漁業狀況視察の爲め九日出張せり ▲達西水利組合認可 達西水利組合は達西面及び江口港灣速成の急務なるを感じ道路、港灣期成同盟會を組織し近日請願委員を出京せしむる由 ▲達西水利組合認可 大邱素封家徐丙朝氏外六名の發起となり大邱市外西北約十五六町の地點飛山、院垈、坪里の三洞に亙り面積約四百八十町步に亙る畑地を水田となすべき計畫にて達西水利組合認可申請中なるが其指令に接したるが是が總工費五萬四千圓機械灌漑にして竣功の曉には玄米約五萬五千石收穫の見込みなり

釜山

▲朝鮮瓦電總會 朝鮮瓦斯電氣株式會社總會は來る十二月東京に於て開會する筈なるを以て同社長香推源太郎氏は鳥井會計主任を隨へ九日夜出港さくら丸にて東上せり ▲紀元節と在鄕軍人會 釜山在鄕軍人會將校會は來十一日の紀元節を卜し午後十一時より龍頭山神社に於て發會式を擧行する由 ▲水產組合總代會 朝鮮水產組合總代會は目下釜山に於て開會中なりし總督府水產課長生田清三郎氏は九日夜十一時釜山に歸任せらる ▲鑛物分拆所設立の議 過日釜山商業會議所役員會に於て鑛物分拆所設立の件を議題として九日午後一時より同會議室に開催したり ▲湖南丸一般觀覽 大阪商船會社天津航路湖南丸(二千五百噸)は白河結氷の爲め同航路を休航し朝鮮航路に變更し十日正午仁川に入港同地に於て荷役を終へ次第釜山に回航する筈なるが當地よりは穀物一萬噸以上を積取り內地へ向ふ由なり又た從來無く冷藏船室を設けし特種構造なるを以て一般に觀覽を許ふ筈なりと

▲京城府尹金谷充氏 九日午後八時卅分出港德壽丸にて東上(釜山特電)
▲高田原州郡守 九日午後九時居京の筈
▲小磯元吉氏(久原鑛業所長) 十日朝北京
▲池內勇氏(步兵第七十九聯隊長) 同上

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社



連絡船問題

内地から朝鮮へ、滿洲へ、支那へ、歐羅巴へ！歐羅巴から、支那から、滿洲から、朝鮮から、内地へ！何方から何方へ行くにしても下關から釜山、釜山から下關、朝鮮海峽百二十七浬の波の上に十時間は過さねばならぬ、あの連絡船の船室に立ち迷ふスチームとペンキの匂な大陸と本土とを繋ぐ細い日本の大動脈の匂と嗅いで釜山の埠頭に下り立つた程の人は此の大動脈の搏動の永へに健實に活潑にそして安全ならんことを希ふたであらふ、さるにても、霧、風、雪、浪、冬將軍の暴るゝまゝに此頃頻々として頓挫したる連絡船の故障は我等をして此大動脈に就いて暫らく考へさせるものではあるまいか

▲外人旅客の感想
—釜山鐵道ホテル主任寺澤貫敏氏談—

關釜連絡船に據りて釜山を通過し往復する外人旅客は近時夥しく其數を増加せるが内地に赴く旅客は連絡船のことに關しては無論何等聞くこと能はざれども上陸旅客に於ては連絡船の往週設備に就き往々苦情を唱ふることあり然れども風俗習慣の異なれる日本人を本位として構造をなしたる爲め止むを得ざることなるべけれども一例を擧ぐれば二等室に於て旅客に脫否を強ひるが如き彼等の最も苦痛とさせるもの、如し其他は往々自分勝手の苦情に過ぎず然れども茲に

▲連絡船の任務 として大に注意を要すべきは連絡の確實に行はれざれば旅客の大なる迷惑損失を與ふることにあり夜間航海の高麗、新羅の如き大型船には稀れなれども壹岐、對馬の如き小型船にて來著する旅客は多く滿鮮直通列車に接續せる便宜上兩船を選びしものなるに不幸にも兩船に限りて遲著缺航比較上多く爲に連絡を妨げらるゝこと往々あり然るに彼等渡歐の旅客は殆んどトウマス、クック社の

▲連絡切符にて 旅程を豫定し旅行せるものなるに斯かる故障の爲め連絡を斷たれたる場合は前途の旅程に大なる變更を來し彼等の蒙むる迷惑損害は蓋し少しとせずクック社の旅行切符に據れるものは大抵は毎週一回水曜日に長春を發車すべき萬國寢臺車に搭乘せんと既に日本に於て日時を定め申込みを爲したるものなるに若し連絡船の故障の爲遲著

▲缺航等の場合 は同列車に乘車すること得ず空しく次週の發車を待ち合す爲め無意味の滯在を爲さざる可からざるのみならず尚次週に發車の寢臺申込者滿員等の場合は幾週間も待合さゞるべからず爲めに前途の行程に大なる異動を來し彼旅客の迷惑計り知るべからず加之萬國寢臺車會社の寢臺購入券は指定の日時に乘車せざる場合は如何なる理由に拘はらず

▲無効に歸する 規定あり是れ等に對して鐵道ホテルとして萬國寢臺會社に事情を申述り乘車料の拂戻を爲さしむべく盡力することゝあるも容易に會社は拂戻を爲さず偶ま事情の止むを得ざる爲め拂戻を受くることあるも仕拂の半額若くは三分の一に過ぎず斯かる場合に被むる旅客の損害苦痛又た思はざるべからず此等は其局に當れる人々の大に注意を拂はざるべからず

▲度々關釜間を 往復する外人の艱に因るも現今の如く交通頻繁なる同連絡船は五六千噸級の汽船にして今少し速力を快速ならしめ旅客が航海中に惱む苦痛を可成減ずる手段を執られんを望むとの談話し云々

◇御眞影奉戴式 慶尚南道廳及び小學校に下賜の皇后陛下御眞影は總督府試補田中三雄氏捧持午後一時自動車にて到着官民多數奉迎の裡に道廳に入り佐々木道長官直ちに拜受し小學校に下賜の御眞影は江上小學校長拜受し小學校に於て奉戴式を擧行せり（晋州）

▲二百名の仲仕
西部鐵道管理局運輸課釜山派出所助役小谷鎭吉氏談

關釜連絡船の出入貨物積卸しの荷役に使用せる人夫の數は毎日平均二百名內外にして之れを內に六十名、棧橋に六十名

▼釜山驛 に三十八名乃至四十名、草梁に四十名乃至五十名の割合で配置し殘分死の交替で晝夜徹宵各荷役に從事せしめて居る此等の人夫は監督さして數名の日本人の外は總て鮮人而已であるけれども成績は至つて良好で日本人仲仕に比するに優つて居るも劣つては居ない以前は直營として居たが一昨年より受負入札に附して現在は釜山の渡山商會の受負になつて居る一日の荷役する數量は千噸內外であるから一人的り

▼五噸位 の割合である彼等賃銀の收入は一日七八十錢より一圓位ゐ先づ鮮人さしては他の勞役賃銀に比して頗ぶる割合良き爲め自然我動が少ない乘降客の手荷物積卸しは鐵道院の常用人夫九名、草梁に五名、釜山に五名、木船に二十九名を使用して居るが此等の一日の賃銀は最低六十錢最高一圓三十錢、船荷役に使用する艀船は常設百五十石積二艘、二百五十石八艘、三百石積一艘合計十二艘と曳船用ランチ二艘で

▼船頭が 十七名此外夫の日當は最低六十錢最高一圓三十錢一艘毎に晝夜交替で是れ又た鐵道道に從事せしめて居る現在此附近の艀の船荷役は一日二千石の數額を運送せしめ得る設備になつて居る此船荷役は矢張り鐵道院の直營である

●雪の金剛へ
壯快なる春川大隊の強行軍

在春川末松大隊は金剛山雪中行軍の爲め二月一日行動を起した此の壯快なる行軍は往復十四泊の豫定を以て行はれるのである、隊は其日內坪里に宿營し

□二日早朝より行進 を起し眞木亭東北約二基米なる切峴に達し先發して本隊の行進を待ち受け居たる寬中隊と遭遇し玆に壯絶なる遭遇戰演習を行ひ午後五時卅分戰鬪を終り末松大隊長の講評があつた後南北軍は合して一つとなり隊伍を整へて揚口邑內に這入つた邑內の內鮮人一同は此の勇ましい遭遇戰を見る爲め邑を擧げて揚口橋附近に集つて來て

□山も丘も人を以て 埋められる程であつた揚口邑に這入ると各戶は悉く國旗を掲揚して行軍歡迎の意を表して居つた各部隊は邑內下竹里及び含春洞に分れて宿營した此の夜揚口邑內の官民から行軍の勞を慰する爲めだと云つて濁酒一樽を贈つて來た、兵士は少し宛分配された酒を汲み交はして二日の行軍と今日の遭遇戰の勞れを慰め其處にも此處にも勇ましい演習中の事柄が語り交はされた、三日は午前七時と云ふに揚口邑內の宿營地を引揚げて文登へと行つた

□文登には三日の夜 までに著き宿營する豫定である揚口から八里の行程、途中に頂嶺と云ふ峻嶺と其峻嶺の前後に開田里古方山里山と云ふ二つの部落がある其他は人家が稀薄であつて溪谷の間に處々炭小屋が有る位である揚口を出て二里の道を行くと頂嶺に達する頂嶺は約二里半の險坂僅かに人一人を通ずるだけの一條の小徑を通ずるばかりである、峠を越して古方山里に落し晝食を喫して居ると

□朝から雪模様の空 は愈々低く暗く成つて來た雪雲低く迷ひて或る山は山巓を殘しは丸或山は麓に雲を帶び雲脚早くして山々峰々忽ちにして隱現す晝食中に見ねた溪の向ふの二つの峰が忽ち見ねなくなつた末松隊長馬山より「二子山ひとつ隱れて雪催ひ」と與かりつゝ進む內忽ち霏々として鵞毛の如き雪は一行を卷いて降り來たつた、午後四時三十分文登里に著いた

□此の山間の村落は 人家二十ばかりあり、內金剛の入口末輝里へ九里十八町あると云ふ夏期には金剛登りの內地人が折りくく通過するとの事である憲兵分遣所もある、部隊は各民家に宿營した午後七時氣溫零下十二度（二月三日於文登　江原川特派員）

山下海軍中將

●佐世保鎭守府司令長官の
令息不測の奇禍
加害者は休職海軍大尉

九日午後三時佐世保八幡尋常小學三年生なる佐世保鎭守府司令長官山下海軍中將二男四郎（一〇）は他の兒童と連れ立ちて校門を出でしに休職海軍大尉飯島弘幸が現はれて四郎を引捕へ四郎が『叔父さん御免なさい』と叫ぶを耳にも入れず仰向に倒し膝下に組み敷き海軍メスを以て右耳下の付根より頸部に掛けて斬り付け即死せしめたり急報により中將夫人德子馳せつけ此慘狀を見て其場に氣絶せし爲め大騷となりしも夫人は間もなく正氣付きたり加害者飯島は一眼を失ひし以來精神に異狀ありと（大阪特電）

●新炭倉庫燒失
龍山、曉の火事

十日午前三時五十分頃龍山元町二丁目十二番地九三組商會事務員阿部虎之助方新炭倉庫より發火したるより龍山憲兵分隊員義勇消防組出動消防に努め倉庫一棟を燒失したるのみにて同四時頃鎭火せり同所は元町小學校下にて附近は屋並櫛比のことゝて一時雜踏せしも幸に延燒なく損害約二百圓位ならんと原因は取調中なる

京城中學の武術大會　十日正午

●京城中學校の
武道大會

京城中學校では餘寒猶料峭たる十一日午前九時より第五回武道大會を開催し擊劍、柔道の優勝試合を行ないたり參加者は同校一年生以上五年生に至る全部にして劍道柔道各別とし柔道部の審判官は岡田、渡邊、田中、岡村、松岡劍道部の審判員は市川、瀧田、松井、篠崎の諸氏にして柔道部は各紅白に別れ第一組は一年、第二組は一二年混合三組は二年四組は二三年混合、五組は四五年混合、六組四五年混合試合あり勝負は輪轉勝拔きにて午後より各官署及び市中有志の參加あり柔道は虎尾隊の二組に分れ午後には劍道部と同じく各官署及市中有志の參加あり各試合共頗る壯烈にわれ午後三時無事終了せり

が多分同家の雇鮮人が倉庫內にて喫煙せる吸殼より發火せし者ならんと

●夜間停水
全く解かる

京城水道にては豫て夜間停水中のところ九日夜は試驗的に通水せしがその結果良好なりしより十日夜よりは平常通り給水すべしと

●又々水管自動車へ
百圓寄附

本紙の『噂の噂』が緣となりて例の水管自動車に金二百圓の寄附を申し出でたる若草町四十一鍛冶職藤井慶太郎氏の美擧は各方面に對し大なる刺戟を與へたる如くその後又九日朝刊の同欄にて大村商議書記長が各方面に勸誘中なりと報ずるや即日市內日出町十九番地林田定十氏より書面を以て同署長に宛て金百圓寄附したき旨申込みありたるより直ちに書記長は林田氏を訪問し感謝の挨拶を述べたりと

●遭難者へ同情金
無事木浦に送還さる

大阪商船會社のハルビン丸が大連に航行途中去月二十一日午前十一時半頃全南務安郡黑山面七發島沖合に座礁りし際一艘の帆船漂流し頻りに救助を求めつゝあるを發見し直ちに救助せしに遭難者は鮮人崔泰汝外三名にして務安郡居住者と判明し帆船は錨を附して放棄し四名を收容して大連に越き同地民政署に引渡すと共にハルビン丸船員及び乘客は四十八圓九十三錢の醵金を募りて遭難者に與へたり而して遭難者一行は其の後一月二十三日同地出帆の朝鮮郵船汽船江原丸にて仁川に移送し更に仁川より三十一日木浦に送遞し同地警察署保護の下に原籍地務安郡黑山面へ歸宅せしめたりと

●老婆の轢死

龍山驛より約一哩の元山線軌道に鮮人老婆が轢死し居るを九日午前八時頃發見し龍山憲兵分隊より憲兵出張檢視せしが死者は高陽郡漢芝面西氷庫里金氏（七〇）と云ひ前夜十一時頃便所に立出でたる儘行衛不明となりたるより家人が搜索中同人孫金昌文が發見したるものにて八日夜元山發十一時二十三分の列車に觸れたるものゝ如く前額部を粉碎され其他左脚二箇所を骨折し居れり同人は老身なるに罹病中なりと言へば多分夫れを苦にして覺悟の自殺を遂げしものならんと屍體は家人へ引渡せり

●公平洞の火事

九日午後六時五十分頃京城公平洞四十一番地雜貨商朴昌鎬方溫突の破れ目より出火して大事に及び鍾路署員常備消防隊出動消防に努めたるが朝鮮式瓦葺平屋一戶二棟溫突七間を半燒して同七時半鎭火せり損害約百五十圓人畜に異狀なし

●本町署乞食狩

京城本町警察署にては十日午前中管內徘徊の鮮人乞食を狩り集めたる結果三十四名を同署に引致し正業に就職する樣將來を嚴戒したり

●救世軍のリバイバル運動

永樂町二丁目の救世軍京城小隊にては熱誠なる人々の發起に成る運動を開始する爲め二月十一日紀元節當日午後より書記長官ホール少佐同副官シルベスター少佐石島大尉等馬車に乘り多數の兵士之に從ひ市内目貫の場所三箇所にて野戰を行ひ夜は同小隊にて大衆集會を開くべく翌十二日夜は印半纏會と稱し男女の救世軍兵士はそれ〴〵其職業を表はす服裝にて立出で各々其立場より實際的に心靈的なる恩惠を證言する由

◇氷上の運動會
紀元節と鴨綠江の賑ひ

安東氷上運動倶樂部並に滿鐵運動會安東支部聯合主催の滿鮮スケート大會は十一日の紀元節を以て鴨綠江安東氷上運動倶樂部滑走場に於て開催する事となり既に新安南地の官民三百餘名へ共々案內狀を發したるが當日は左記の如き番組にて頗る奇拔なる競技あり遠く奉天及び平壤等の沿線よりの申込もあり且つ觀覽隨意なりと云へば定めて鴨綠江上に一大偉觀を呈するなるべし

▲競技種類（一）各地選手競走（二）各地團體競走（三）安東團體聯絡競走（四）障碍物競走（五）背嚢競走（六）椅子押競走（七）袋競走（八）提灯競走（九）スプーン競走（十）新案競走（十一）徒歩と前走競走（十二）二人三脚競走（十三）驅競走

尚ほ競技當日は南地貸席並に市街各料亭の寄贈に係る關東煮、鮓、薩摩汁、しる粉、うどんそば、酒其他模擬店を開始し各料亭の藝妓連亦前垂に襷掛けにて出場斡旋する筈（安東）

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▼一口噺『時々』

▲○『近頃其火事が多いよ』與太『夜は水道が水するから取越したのだ』京城　UN生

▲讀者『二萬七千圓の代金を帳消しにした金持があるが感心だナ』負けぬ氣『ナニ俺でも金持にして呉れゝばやつて見せる』龍山　岡本小京子

▲八日の夜仁川公園の記念の篝火を見た『明日から新屋が値上するだらう』龍山　乃美

一等なし

商業登記公告

地番設定ニヨリ株式會社漢城銀行ハ支店所在地ヲ左ノ如ク變更シタリ
京畿道高陽郡龍江面東幕上里百九拾貳番地
右大正六年貳月七日登記
京城地方法院開城支廳

商業登記公告

一支配人解任　株式會社平安農工銀行沙里院支店支配人小森修一ハ大正六年壹月拾六日解任ニ付代理權消滅ス
一支配人選任　一支配人ノ氏名住所　黃海道鳳山郡沙院面沙里院西里宮崎匡雄　二主人ノ氏名住所　平安南道平壤府壽町拾六番地株式會社平安農工銀行　三主人ノ營業　銀行業　四支配人ヲ置キタル營業所　株式會社平安農工銀行沙里院支店　五支配人ヲ置キタル場所　黃海道鳳山郡沙院面沙里院
右大正六年貳月五日登記
海州地方法院瑞興支廳

購買
立米　精米　大麥
詳細ハ二月十日以降朝鮮官報ニアリ
龍山陸軍倉庫

仁川在勤中は不一方御厚情を蒙り感佩仕候猶出發の際は御見送りを辱ふし御芳志奉鳴謝候右乍略儀新聞紙上を以て御挨拶申上候
武田近次郎

東京米穀商品取引所仲買人
東京市日本橋區蠣殼町一ノ二
野瀬久次郎商店
電話浪花（五一〇二・五一〇三）（五二〇四・九二一）
發信電報略號（シメ）又ハメ
受信電報略號トウケイシメ
振替貯金二二〇四一〇番

失權公告

左記ノ者當社株式第四回拂込ニ付商法第百五十二條ノ規定ニ依リ本月拾日限拂込ムベキ催告ヲナシタルモ拂込マザルニ付商法第百五十三條ノ二ニヨリ各頭部ノ番號ノ株券ニ付其權利ヲ失フ
[illegible]
大正六年二月七日
朝鮮煙草株式會社

時計　書畫　寶石　金銀
十八金片十二形　瑞西國ウオルサム番械入　金四十圓　至二月十五日
仁川本町　糸岐商店　電話三七〇番　振替京七一番

謝近火御見舞
龍山元町二丁目（電話六三五）
末岡酒造場

今曉龍山分工場近火の際は早速御馳付被下有難く奉存候混雜中御尊名伺ひ洩れ有之候やも難計乍略儀以紙上厚く御禮申上候
二月十日
龍山精米所　執行猪太郎

謝近火御見舞
龍山元町二丁目四（電話四二二番）
加藤鐵工所

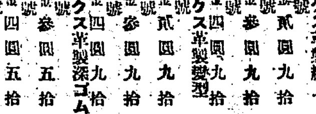
内科 眼科 小兒科 本田醫院
京城黃金町三丁目　電話一四四三番　振替京城三二二八番
院長 本田建三

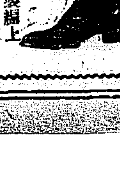
痔核。痔瘻。脫肛痔　裂痔。痔出血。直腸脫
肛門病の新特種注射根治療法　解說進呈　遠隔は郵券二錢要す
京城肛門療院

闘球盤

紳士も婦人も高尚で面白い大流行の快活の遊戯はコレ
東京 發賣元 大一商店
朝鮮代理店 京城本町二丁目 シノサキ商店 電話一三〇三番
定價表は御申越次第贈呈す

最も信用ある東京三金の靴





ボックス製長靴　牛長 金五圓五拾錢　本長 金六圓也
ボックス革製編上　第一號 金貳圓九拾錢　第二號 金參圓九拾錢　第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製變型　第一號 金貳圓九拾錢　第二號 金參圓九拾錢　第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製深ゴム　第一號 金參圓五拾錢　第二號 金四圓五拾錢　第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造しあれば一般實用紳士靴として好適なり御注文の節は靴種類と足袋の文數御通知次第代金引換小包（送料實費）にて送附す
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六九〇　振替東京一七一一三番
最新目錄無代進呈

恩給　年金　即時立替
京城府黃金町三ノ三四四
朝筑社
（永樂町通花本洋服店裏）

故伊藤靜葬送の際は寒中御會葬被下御厚情の段紙上を以て厚く御禮申述候
二月十日　妻 タツヱ　親戚友人一同

大田支局長伊藤靜死去に付大方諸君より多大の御厚情を蒙り且つ葬送の際は寒中にも不拘御會葬被下難有奉深謝候
二月十日
京城日報社

天氣　晴れ

興味の多い朝鮮や臺灣の教育

土地の言葉を知つた教員が喜ばれる

内地では小學教育が一般に普及されてゐますが、朝鮮や臺灣或は南洋諸島の如き所ではその土地の少年子弟の教育がまだ中々困難です、しかし教育をうける方で熱心なので、なか〳〵興味も多いのです。これは

▲**新しい土地** には朝鮮などはその土地の少年の爲めに小學校の設備があり、教諭としては内地の師範校を出た人達が行つてゐます 教科書は朝鮮總督府の編纂になつたもので、日本語を標準にして土地の言葉のも作り、二種對照して出來るだけ

▲**内地的教育** を施してゐます これに就て文部省普通學務局の局員は語る『かやうな土地の教科書は矢張り實際それに接した者でなければ分らないので、朝鮮にしろ臺灣にしろすべてその地の總督府で編纂してゐますが、何分土地の言葉や風俗上の習慣などがあつて少からずその爲めに苦心を要してゐるやうです本文の中へ入る

▲**挿畫の如き** も國定教科書は内地風俗であるが、朝鮮のは朝鮮の人々の風俗が描かれてゐます。瓜哇のやうな所は子弟の爲にその地の居留民團が小學校を設け教科書なども作つてゐるがこれも國定などは使はずに、もつと居留民の生活に近いものを選んでゐます。小學校の本の中にローマ字や外國語が入れてある所は、流石に廣い

▲**世界の眞中** にあることを思はせます。臺灣では朝鮮と同樣に土地の人の子の爲に總督府で公學校を作り、こゝに生徒を收容し、總督府編纂の教科書を以て教育してゐますが、然し朝鮮の如く土地の言葉を全く使はずどこまでも内地語を本位としてゐます、尤も内地の國定教科書から見れば程度は幾分低いやうであるが、學科目は同じで

▲**一般の進步** も平均して良い傾向を見せてゐます』と、云て臺灣總督府の清水氏を訪ねると、氏は語られるやう『内地と違ふ所は暑中休暇の少し永いことですが、暑氣が激しいので止むを得ません。教諭は多くは内地人で中には婦人も多少見ゐます。訓導は主に臺灣土人の教養ある者、即ち其地の師範校を出た成績のよい者を使つてゐますが

▲**教育上注意** すべきことは日本語を敎へるにしても、土地の言葉を知つてゐる者の敎へる方が進み方が早いことです。一般小學敎育は概して盛んで、年々校舍がふえて行きます。また別に生蕃人を敎育する學校もありますが、程度は公學校よりも遙かに低く單純で頭に入り易いやう作つてあります』（東京）

流行の櫛と笄

夏は翡翠冬は珊瑚

春うら〳〵かな花の時水々しく結びあげたお頭髮を飾る櫛、笄の品定めをして見ました、先づお若い向の日本髮に美を添へる櫛は昨年と大差なく背に丸みをおびた山形でございます品の善いのは黑鼈甲に

◇金や帝貝珊瑚珠を嵌め込みにして美しく模樣を現はしたもの或は生地へ細工をほどこしたもの彫刻やら翡翠、珊瑚、金などを配らつた象牙細工であります二流三流のお安い向になりますと木臺へ鼈甲を眼り金蒔繪などに見せたものもあります、一般に笄が小さくなつて櫛が大きくなつた傾きがあります

◇簪は何と云ても金の平打が一等で次は珊瑚の玉つきです、珊瑚や金は流行を超越して昔ながら動きません根掛にしてもこれを措いて他には無いのであります僅かに其圖樣などに變化があるのみで例へば同じ菊水でも菊水のゆきかたが違つて來る位なもので お安い雜物の樣に全然すたり沒する樣な事はないのであります。夏は翡翠冬は珊瑚と誰定めたでもなく根掛に規定が出來ました、一般に珊瑚の質は昔よりも上等になつて來した束髮物は以上の日本髮にちなみ

◇黑鼈甲白鼈甲に同樣の彫刻をしたのが好かれて居りますが近頃はとんと簪櫛を見受けない樣になりました、それはピン簪と云つた樣なものに樣々の細工物が加つて來たせいかと思はれます

◎**憐れなる一家へ** 本紙六日朝刊所載憐れなる堀川ふく一家へ京城無名氏より金一圓本社を通じて寄贈ありたり

東西無邪氣合せ

小松　釜山 守谷樓

小松は釜山では舞妓として大分古い顏である、大正二年の九月に披露目をしたから今年で足かけ五年お酌をしてゐる、豆入の妹だからといふわけでもあるまいが身體が小柄に出來てゐるので今年取つて十六になつたのにまだ初々しく十二三位にしか見えないのは當人にとつて大へん德である、但し藝の筋は頗るよく、一生舞妓をさせて置きたいさうである、好物はたこ、いか、あわびとはさすが潮風に吹かれて育つた丈あるこのと、高知縣安藝郡の生れ

一松　長春 九芳樓

一松は昨年の八月始めて廣島から長春に來たのだが、始めて味はつた今年の寒さに驚いて人さへ見れば『何故こんなに寒いのでしよう』と鼻を鳴らして寄り添ふところは恰度、誰かが氣候を操つて寒くしたかのやうである、その言葉訛りが説明してゐる通り廣島生れとあれば人一倍寒がるのも無理は無いと姉さんたちがお座敷で勞はつてやつてゐるのは持つて生れた温なしい性質からである

神社とお寺と教會

○京城聖公會（南米倉町）十一日午前十時聖餐式説教大祭第二十一日』主教トロロップ午後一時日曜學校午後七時半晩禱『傳道説教』一色司祭

○龍山日本基督教會（漢江通）十一日午前九時半日曜學校同十時半禮拜説教『建への主張』午後七時半傳道説教『信仰の自由』加藤牧師

○京城基督教會（南米倉町）午前十時半禮拜説教『有効の生涯』日本牧師午後七時半傳道説教

○西本願寺（若草町）十一日午前九時より日曜學校午後七時より一席講演あり

○東本願寺（南山町）十一日午後七時より土曜講話あり竹林開教員、芳原開教師の講話あり十一日午後七時より日曜講話あり

○妙心寺（長沙洞）妙心寺別院にては毎日曜日午前十時より

○開教院（本町三）十一日午後七時より日曜教會あり法話あり

○曹洞宗別院（若草町）十一日午前九時より

○メソヂスト教會（旭町二）十一日午前九時十五分より日曜學校、同十時より禮拜説教『天的光を受けたる我國』午後七時半より傳道説教『十字架の凱歌』同牧師

○京城日本基督教會（長谷川町）十一日午後一時より日曜學校同二時より禮拜説教『勇敢されたる我國』井口牧師同七時半より傳道説教『福音とは何ぞや』同牧師

商況

公債直取引（十日出來値）

深川在米特電

東京期米特電

大阪株式

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

●**石油は値上?** 路次時局保險料の暴騰に伴ひ此方面に係る諸品は何れも多少の影響を受けざるなき折柄米國石油の運送船は恰も此海上の要路にあり東洋市場に於ける品拂底を來たすの如く現在は朝鮮でも約一

●**半間を支**ふるに足ると稱せらるゝ如き事なく直ちに各種との協定値段あれば獨り突飛なる行動を執り難き事情あり昨今遂に値上

●**洋釘更に昂騰** 安田銅鐵製鋼所の暴騰に對し當地は約五十錢方の騰貴を告げ其他の金物類の値上も…五十錢方昂騰し

●**沿線穀物市況** 仁川手筋纏り 注文に應ず事能はず…

●**陶磁器愈々騰貴** 對外輸出に多少の影響あるべしと期待されたる陶磁器類は今日までの處に於ても高値

●**尾濃地方は何時も**最先に値上を試むる…

●**皮革類の其後** 有田地方に赴…一時的

●**三月下旬或は四月上旬**…若干の入品あるべし

●**砂糖は保合ひ**

●**米鍊は不振** 三十三圓と小形次値 大形三十五圓

●**元山入電相場** 氣集め元山物に人 賣行き又良好

●**生鍊は好況**

京城正米

京城雜穀

南大門の雜穀

仁川現物市場

釜山市場

生魚市場

仁川期米 十日前場 大阪天候晴天前寄十六圓十三錢と昨止より一錢安の入電 二節十四錢の移り 大阪六節○

仁川米豆取引所 十日の四月限

市場雰囲 依然保合

●**七錢と安移り**

●**撚寸軟弱** 一般に軟弱

●**實際は腰弱**

前場の手振 臺能く賣る 臺能く買ふ 更に動かず 丁跳返り安値四十七 關係所謂人氣賣 先限仕手 先限目覺しく逆鞘 中先鞘開き

青物だより

演藝案内

御成座 御成町 電話二九一 十一日夜より 中村梅昇一行 前切 大阪陣灘波戰記 女舞鶴判額門破

大正館 櫻井町 電話八七三 全十八卷

浪花館 明治町 電話二六〇 浪花節 浪界之別格竹川馬生

黄金館 早川 電話二六三七

壽座 京城壽町 電話五七八番

公債株式現物專業
東京市日本橋區南茅場町八番地
合名會社 三星商會
電話浪花長四〇九〇六番

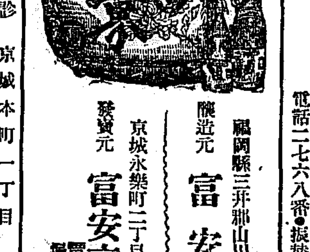
りん病 急性慢性を問はず博士發見の最新藥配合の淋疾を治す…
京城黄金町 山田文殊堂藥房

貴紳間に高き稱讚の聲は
▽純國産
牛久赤白葡萄酒の
眞價を語りつゝあり!!
見よ――!
本邦生葡萄酒中の醇良品として上流社會の人氣を此一身に集め
忝くも宮内省の御用命を蒙りつゝある本酒は
如斯二大特色あり
〔一〕茨城縣牛久神谷葡萄園に移植したる佛國種優良生葡萄質より搾取したる儘の精良品也
〔二〕本酒は純國産なるを以て舶來品の如く高價なる運賃關税を要せず隨て價格頗る低廉也

賣捌所 東京日本橋 近藤利兵衞

内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七九二九番

優等清酒



福岡縣三井郡山川村
釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元 富安京城支店
電話一〇三九番 振替口座四三九番

◎如何なるを眞の人蔘エキスと言ふか
◎人蔘湯御接待
◎先づ一杯御試し下さい
期日 紀元節當日
場所 健康長壽補血唯一劑 高麗人蔘精製劑發賣元
引換 當日他店の製品と一千個に限り（但し手のつきたるものに限る）當研究所製品と引換可申候
京城黄金町三丁目二百九十一番地
朝鮮蔘藥研究所
電話二七六八番・振替京城四二〇四番

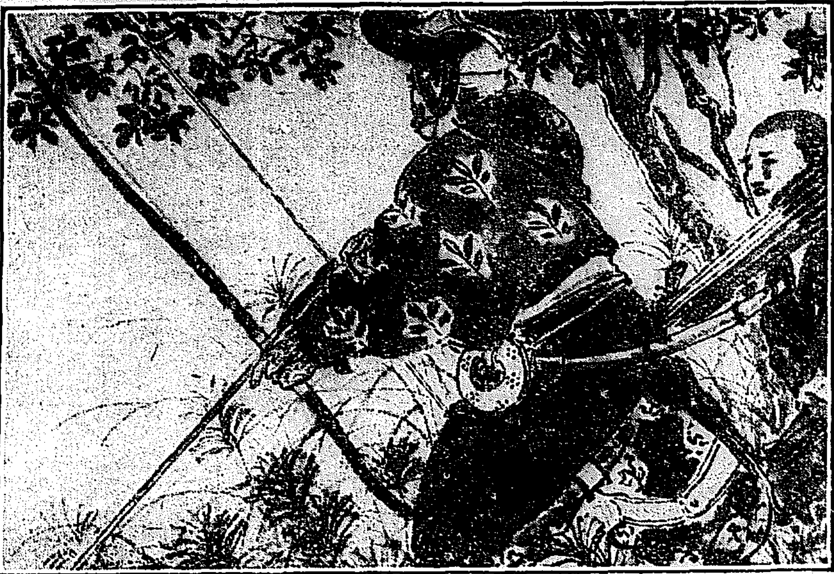
致富之栞 商報 送呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
多少に拘はらず御用命の程奉願上候
片山政藏商店
堂島濱通
電話長北六四三 二一〇一 二一〇二

値上廣告
コークス壹噸に付一圓俵賣六十錢
右二月十日より前記之通り値上致候間以紙上謹告仕候
京城電氣株式會社産出瓦斯コークス一手販賣
京城長谷川町五十八番地
南豐商會
電話一九二六番

明君道中記

第五十五席 田邊南龍口演

仲間幸助は五六間駈け出して見定めて、取つて返して 幸『ヘエ旦那様狐狸ではございません、何だか真白な物で是が殊によつたら猿で噂の猿ではございませんか 源『ウン左様か、宜しく猿とあれば射止めてくれん其處退け』と源右衛門は弓矢を押取り二三間前へ進んで件の弓に矢を番へキリ／＼と滿月の如く引絞り狙を定めて兵と射る、右の矢はヒユーと風を切て飛んで行つたが、彼の怪物の足の附根へプツリ射込んだ、キヤツと叫んで其處へ倒れる、是を見て源右衛門 源『しめたぞ幸助、早く參つて押へろ 幸『畏りました』とドン／＼其處へ駈けて來たが、怪物は早くも身を躍して彼方へ逃げ行く樣子脱しはせぬと追蒐けたが、林の間へ飛込んだと思ふと姿が見えなくなつた乃で幸助は 幸『ヤレ殘念なことをいたしましたとう／＼、逃してしまひました 源『ウーン殘念なことをいたしたな、逃げて行く處を見たが正しく白猿であつた 幸『猿でございましたか、そいつは惜しいことをしましたな 源『然し日も西に傾き餘程遲くなつた故立歸らう』と主從は愚痴たら／＼城内へ立歸る、スルと茲に駿府城下の人宿町に迷水泰庵といふ醫者がございましたが至つて貧乏で裏住居をして居る位、然し泰庵は名醫であるそれが何で貧乏をして居ると云ふに決して貧乏人からは藥禮は取りません、毎日眞々を見廻つて稼ぎ人でも病つて居ると直に診察をして藥を與へ、女房子があると此錢で著物を買へと金子を與へ又は此の金で米を買へなぞと幾何でもあるだけの金を遣つてしまひます、病人は喜んで全快をして後藥禮を持つて禮に行くと決して其の金を取らない係ういふ譯であるから自然貧乏するのも無理はございません、其の代り大家へ參ると分外の藥禮を取る、幾何取つても皆施してしまう、決して自分の身には附けない、助けられた者は此泰庵を神佛の如くに敬ひ先生／＼と云つて表を通ると土下坐をする位でございます、醫は仁術を旨とするといふから是が眞個でございませうスルと或晩のこと泰庵の家の戸をドン／＼叩いて起す者がある泰庵は偖は急病人があつて迎ひにでも來たのかと思ひまして、寢て居たが其處へ起て來て 泰『あゝ其腰に叩かいでも宜い今開けるから、急病人でも出來たのか ○『鳥渡開けてくれ、我々は城内より參つた者である』と聞いて泰庵不思議に思ひガラリ戸を開けて見ると、立派な侍が一人此處に立つて居て周圍には仲間體の者三四人箱提灯を持つて其處に控へて居りますから泰庵は驚いて 泰『何ぞ御用で 侍『拙者は城内より參つた者であるが、迷水泰庵は此方であるか 泰『左様にございます 侍『城内の朝倉筑前守の家臣林源六と申す者であるが、主人筑前守の御子息が今日弓の御稽古をいたし、過つて足部に怪我をいたした、城内に係りの醫者はあるなれど泰庵は名醫の由を承知いたして頼みに參つたのであるが、夜中太儀であらうが何うか拙者と同道いたして貰ひたい』と聞いて泰庵は早速承知をして 泰『イヤ夜中と申し御苦勞さまでございます、お抱への醫師もあるものを態々泰庵をお招き下され有難い仕合せ、御城内とあれば只今支度いたして跡より參上いたします 侍『イヤ駕を持つて參つたのであるから支度が出來たなら此の駕に乗つて御同道下さる様 泰『左様にございますか、それでは御同道いたしませう』藥籠萬端支度をいたして此の駕へ乗りましたから彼の侍は駕に附いてトツ／＼／＼と城内を指して參ります



二月十二日 九星 舊正月廿一日乙酉 本命 一白 北 成 先負

▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四緑 [illegible] ▲五黄 [illegible] とんちんか [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible]

二月十三日九星（舊正月廿二日丙戌 本命二黒 納 先勝）

▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四緑 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible]

てんかん ヒキツケ
困難の方切手三錢送れば永年の病いも自宅でなをす秘訣の良法を[illegible]
◎名古屋市中區南小川町 救生館

●色の黒い人はない筈

色の黒いのは生來で、どうする事も出來んと云ふ人は時勢後れである、なぜなれば何處の小供も皆色の白きを見るによ然るに如何に美くしく生れたる男女でも成長するに從ひ色黒くニキビ、ソバカス等の爲めに天性の美を損ふは消化作用による[illegible]、此學說により本所が責任を以て調和せる驚くべき效果ある內服藥を服用せられよ
無代進呈 申込次第說明書無代進呈す
東京市麻布區簞笥町六番地 ◎三協製藥所

味噌の ほまれみそ

●直段一大引下げと取引法改善謹告
各位益々御情福奉賀候弊店儀永年各位の御眷顧御引立を蒙り御蔭を以て益々隆盛に趣き候段奉深謝候 隨つて平素各御得意樣の御厚意に酬ひん爲め今般店則の一大改革を施し且つ諸品一般產地直段益々暴騰一方に不係弊店は正反對に一大引下げを斷行し誠心誠意薄利多賣主義の本分を以て大勉強可仕候間多少に不係續々御買上の程奉懇願候
漆器 鑵詰 銘茶 金物 石油 什器 乾物 清酒 綿物 陶器 石鹼 文具紙 海產物 荒物 [illegible]
仁川新町 津田兄弟屋本店 電話七六二番 振替京城三八九番
仁川宮町 津田兄弟屋陶器部
京城本町 津田兄弟屋支店

世界各國の紀元

日本	紀元	二五七七年
英吉利	同	八五一年
墺太利	同	六一九年
土耳古	同	四六四年
西班牙	同	四四八年
獨逸	同	三二五年
露西亜	同	三〇四年
希臘	同	九〇年
伊太利	同	四六年

南行 [illegible] 北行 [illegible] 仁川行 [illegible] 北行 [illegible] 南行 [illegible] 北行 [illegible]

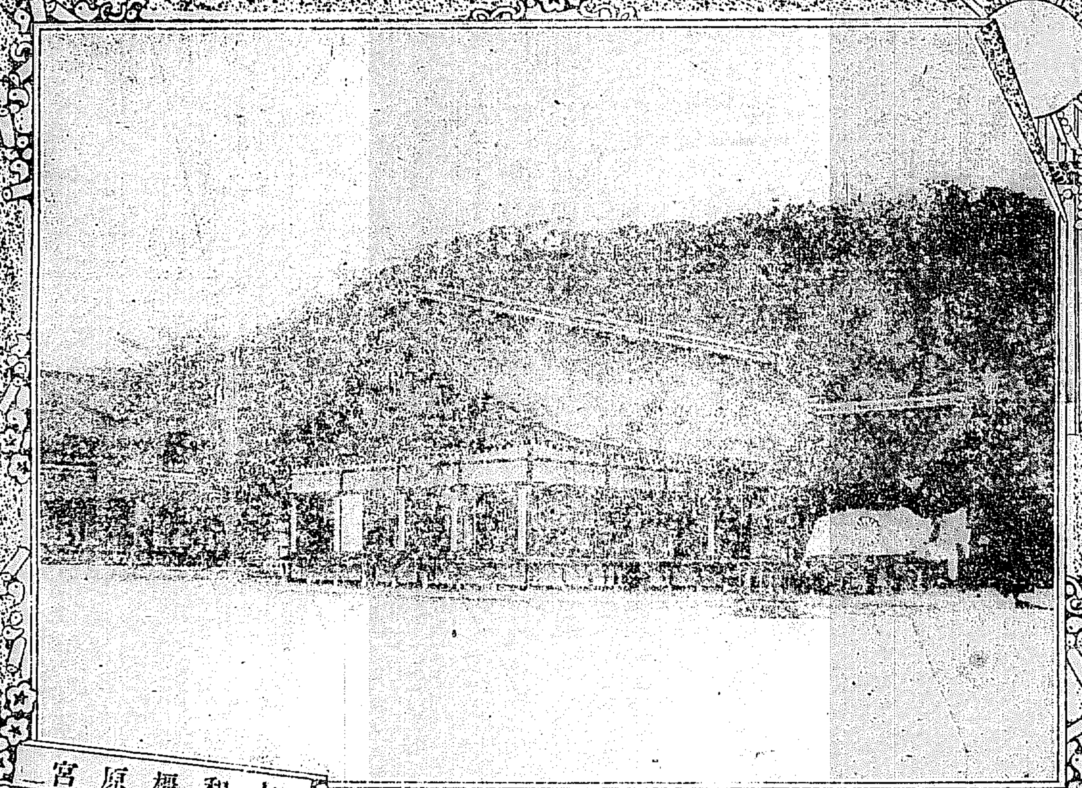
京城日報　第三版

威武加八紘

我が皇祖建國の大遺業は、二千五百七十七年前の、本月本日を以て、其の端を開かせられ、寶祚の隆興、天壤と與に窮りなく、今や我皇の德澤は、六合に洽く、我皇の威武は八紘に加はる、吾人は年々、本日の佳節を迎ふる毎に、其の祝意の、更に新なるものあるを、感ぜずんば非ず。

歐洲の大戰は、猶ほ未だ、何の時か、其の終局を告ぐるを知らず、交戰各國が、兵事上に、經濟上に、將又た外交上に於て、其の他あらゆる方便を藉りて、千變萬化の狀態にあるも、要するに國家の生死、存亡の機は、時時に相接し、刻々に相迫り、秒々相決せんとするにあるものゝ如し。蓋し、今日の如きは有史以來、實に未曾有の事に屬す。此の非常の秋に於て、生を我が金甌無缺の帝國に享け業を大正御政の下に全ふするは、良とに我皇祖皇宗の恩澤にして、實に我　天皇陛下の御威德に是れ賴らずんば非ず。正に是れ、吾人臣民は、自彊不息、以て其の全力を傾注して、報效を竭す可きの大機たる也。

然り而して、今や東亞及び太平洋上の治安が、偏に我帝國の、威武に依りて、保持せられ居るのみならず、歐洲に於ける聯合軍は、我國直接間接の援助に依り、其の士氣を支持し、日支の親善は、愈々深厚ならんとし、世界經濟上に於ける、我帝國の位置も亦、今や一轉して、債權國たるの富力を有するに至れり。內外各方面に於ける、形勢の進展、其れ斯の如し。之れ即ち我　皇祖建國の大遺業が今日に於て、恢宏、且擴充せられつゝあるものにして、吾人が斯の佳節を祝するに於て、其の意味の年々新なるを覺ゆるもの、即ち是れが爲めならずんばあらず。殊に吾人が此の祝日に於て、我二千萬鮮人が、吾人と其の處を共にし、其の感を同ふするは、皆之れ我皇の稜威にして、我大日本帝國の爲に、祝福するを禁じ得ざる次第なり。



大和橿原宮

朝鮮の蠶業（三）

△稚蠶の共同飼育　當局の施設と普及狀況

稚蠶共同飼育は育蠶の方法を授け技術の改良を促すのみならず成繭の品質を一定ならしむる等當業者を利すること甚大にして朝鮮の現狀に徴し最も適切なる事業なるを以て總督府は地方費に補助金を交付し之が設置を奬勵す、地方廳に於ては地方費又は授產費を以て相當の補助を與へて之の設置を勸奬したる結果是等の稚蠶共同飼育事業は逐年盛況に向ひ大正五年度には地方費の補助を受けて經營せるもの一千六百二十一箇所、授產費の補助を受けて經營せるもの七百五十箇所、合計二千三百七十一箇所あり、今最近數箇年に於ける稚蠶共同飼育所數を示せば左の如し

年次	地方費補助	授產費補助	合計
明治四三年	三〇	—	三〇
明治四四年	一〇二	四五	一四七
大正元年	[illegible]	三四	[illegible]
大正二年	七〇三	一〇一	八〇四
大正三年	一、二七四	一〇九	一、三八三
大正四年	一、八八七	三三五	二、二二二
大正五年	一、六二一	七五〇	二、三七一

（備考）明治四十三年度及四十四年度地方費の補助を受けて經營せるもの中には國費を以て補助せるものを含む

△桑園の增殖

桑園の增殖は蠶業發達上緊要缺くべからざる急務なるを以て總督府は從來勸業模範場又は道種苗場をして桑苗の育成配付を爲さしめ來りしが時代の要求は到底同場に於ける配付のみを以て滿足せず年と共に其の配付希望數量を增加するが故に補助金を地方費に交付し以て桑苗の育成を獎勵し更に明治四十四年度より大正三年に至る四箇年間京畿道始興郡新東面蠶室里に桑苗圃約十六町步を設置し勸業模範場をして其の經營の任に當らしめ同場從來の桑苗圃と相俟て大に桑苗の育成に努めたり、又た地方廳に於ても地方費又は授產費を以て桑苗圃を設置し桑苗の育成に從事すると同時に其の補充として桑苗の購入配付を行ひ以て桑園の擴殖に努めつゝあり今最近數箇年間に於ける各官署の配付桑苗數を示せば左の如し

年次	勸業模範場配付	地方廳配付	合計
四十三年	五九、四四三	一、三三三、五九九	一、三九三、〇四二
四十四年	三一、三一三	二、三一六、八四二	[illegible]
大正元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同　二年	[illegible]	二、一七〇、九四六	二、八〇八、一〇六
同　三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同　四年	[illegible]	三、九八六、三五五	[illegible]
同　五年	一九八、四八六	三、三三四、四四七	三、四五三、四九三

（備考）本表中には有償配付をも含む

尚ほ此の他地方廳に於ては地方費若くは授產費を以て蠶業傳習所を設置し又は地方に桑園を新設して蠶業明發上緊要なる桑樹栽培の方法を一般に示さむとする者に對し補助金を交付して以て確實に桑園增殖の實を擧げむことを努めつゝあり

日報詩壇

○近衛田小芥東歸　　征島　紫峰

津水相逢彼一時。關山千里夢魂馳。來君且結生友。爲近東隣小詩。

評曰　言短情長

○同上　　望月　桂軒

江東春信促歸期。恰好漢陽多雪時。歎息風塵佳景色。櫻花風月是皆詩。

評曰　有情有景

○同上　　安永　春雨

齊城官游忘殷勞。授籍將臥漢東廬。春風一月洛陽路。耐柏辭梅好下車。

評曰　簡潔

新刊

書名	著者	定價
冒險お伽　新	和田垣博士	六五
金澤サニン	武林無想	一、〇〇
播かれたる種	近藤經一	一、〇〇
我が日蓮主義	佐藤鐵太郎	一、〇〇
帝國國難論	衣斐釟吉	一、八〇
人體の學藝	二階堂力太郎	一、五〇
小學教師としてのトルストイ	三浦修吾	一、〇〇
會計學要論	工藤重義	一、二〇
法學通論	谷野格太郎	六〇
最新訴訟法判決質例	嚴松堂	三、〇〇
鑛業法合集	中村玄元	一、三〇
朝鮮鑛業要覽	鑛業研究	一、二〇
大正青年と帝國前途	德富猪一郎	一、八〇
牛	岡本米藏	一、〇〇
高等文官試驗問題集	嚴松堂	六五
高等文官受驗提要	同	四五

嚴松堂　京城店　古本部　仁川店

京城本町二丁目　電話一一六六番　振替京城二四五番

歐洲戰爭記念

佛國製置時計

新荷着

京城本町二丁目

村本時計舖京城支店

電話四七一番　振替京城三一九〇番

地方より御注文の節は代金引替小包便にて御送附申上候

日本公債株式會社

第五回決算報告　自大正五年一月至同十二月

貸借對照表

（資産之部）

未拂込資本金　五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
保證金及保證預ケ金　壹〇、六〇〇・〇〇〇
諸貸附金　壹五、五參八・八〇〇
國債償券　武[illegible]
備品什器及土地家屋　壹九八、四六七・五五五
假出金　六四、〇九四・武四九
代理店勘定　五七、壹九四・四五〇
支社支部出張所代理店設置費　武[illegible]
未收入金　[illegible]
現金及預金　[illegible]
合計　七五九、參六五・九九五

（負債之部）

資本金　武[illegible]
諸積立金　[illegible]
社員身元保證金　[illegible]
公債販賣代金　[illegible]
假受金　[illegible]
損渡準備金　[illegible]
當期利益金　[illegible]
合計　七五九、參六五・九九五

利益金處分

法定積立金　[illegible]
賞與金　[illegible]
株主配當金（年一割）　[illegible]
特別積立金　[illegible]
後期繰越金　[illegible]
合計　[illegible]

右之通リニ候也

大正六年壹月

東京市京橋區銀座一丁目六番地

日本公債株式會社

社長　男爵　肝付兼行

專務取締役　吉岡又三郞

撫順炭着荷御案内

昨冬來兎角品薄勝にて御得意樣に對し非常なる御手間を來し見すく高價の代用炭御使用等の不都合相重ね申譯なき次第に存居候處滿鐵に於ても何朝鮮に於ける炭價調節に就ては多大の注意を拂はれ今回の如きも石炭欠乏に際し日々特に數貨車の增發をなし急場救濟の事と相成目下續々著炭各種炭とも豐富に品揃ひと相成候に付今後絕對に品切れ等の不都合なき樣潤澤に御供給可申上候間弊商會等の苦衷御諒察被成下本炭の品質價格斤量等他炭と比較御對照の上何卒倍舊の御用命御引立の程偏に奉願上候　敬具

南滿洲鐵道株式會社
撫順炭特約販賣所

京城　三國商會

電話　商會用　長九〇〇番　七四八番
西大門貯炭場　一八〇九番
振替　京城　一二〇六番

撫順炭價格表

塊炭　壹噸に付　金拾參圓七拾錢　半噸以上持込

切込炭　壹噸に付　金拾武圓七拾錢　半噸以上持込

塊炭　壹叺に付　金壹圓武拾錢　壹叺以上六叺迄持込

米獨斷絕交後の形勢

▲西國對獨答書劃切

馬德里來電＝西班牙は獨逸の潛航艇海戰政策實行に關し冷靜にして而も毅然たる語調を以て反對の答書を送りて曰く該政策は中立諸國に對し最も忌むべき印象を與へたり斯くの如き海戰政策は實に前例に無き所にして西班牙政府は飽迄之れが戰鬪方法の正當なるを認むる能はず而も獨逸は此の答書に對して必ず西班牙政府の要求を滿足せしむる手段を執るを疑はず西班牙政府は我が臣民の生命を保護し且つ國家の主權を擁護して完全無缺を期するの義務を負ふに於て此の要求なきを得ず云々（倫敦電報）

▲西、伯兩國態度決定

西班牙及び伯剌西は獨逸に對し米國と同一の行動に出づることに決せり（倫敦電報）

▲瑞西獨墺利益代表

米獨國交斷絕の結果瑞西公使は本國政府の命により米國大使に代り戰時中日本に於ける獨墺兩國の利益を代表する事となれり（東京電報）

◎宗社黨組織と警戒

梁士詒等の運動 張督軍の逮捕下命

帝政派の頭目梁士詒等は上海に在りて宗社黨を組織し部下を奉天山東等に派し運動中なるを以て撲滅せよとの命令北京政府より張督軍の許に達したるより張督軍は嚴探の結果奉天省某地に梁士詒の命を奉せりと稱する宗社黨員約百名潛伏し居るを探知し直に逮捕方を命せり（奉天特電）

◎地方長官會議（第一日）

寺內首相の訓示演說

地方長官會議第一日は十日午前十一時三十分首相官邸に於て開會寺內首相以下各大臣（後藤內相病氣缺席）兒玉翰長、有松法制局長官、山縣朝鮮總督府政務總監、白仁關東都督府、下村臺灣總督府兩民政長官、昌谷樺太、俵北海道兩長官、井上東京府知事以下各府縣知事全部出席劈頭寺內首相は起つて左の訓示演說を爲し次で本野外相より最近の外交事情を述べ終つて午餐會に移り懇談裡に午後二時散會せり（東京特電）

▲首相演說概要

（前略）第三十八回帝國議會の解散は實に現內閣不信任案の提議に職由す而して其の不信任案の內容は主として現內閣が國民輿論の府たる帝國議會に基礎を有せざるを理由とし併て大政輔翼の綱綸を有せざるものと臆斷したるにあり（中略）抑々帝國議會は貴衆兩院を以て成立し單り一院のみを認めて直に國民輿論の府と爲すべきものに非ず然るに帝國議會に基礎を有せずと云爲するも衆議院の決議は其の一院の意志を表示するに止まり貴族院を包括するの理なきは素より當然の事に屬す況んや多數黨に根柢せざるの故を以て直に帝國議會に基礎を有せずと爲すに至つては之れ專橫の言なりと謂ふべし（中略）政黨の興廢は一に政見の異同に依つて定まるべきものなるが故に政府經綸の如何を顧みず又政見の異同を問はず一に國務大臣中政黨出身の有無に依つて內閣の信不信を決せんとするが如きは固より失當の擧たるを免れず是れ畢竟政黨內閣の理想に囚はれて凡百の議論悉く玆に胚胎するものに外ならざるなり（中略）我帝國の如き立憲の制度にありては貴衆兩院を以て帝國議會を組織し其の間毫も輕重の差ある事なし然るに單に衆議院に於ける多數黨の代表者を以て內閣を組織せざる可らずと爲すに至つては啻に至尊の大權を干犯するのみならず併て兩院制度を無視するものと謂はざる可らず（中略）本大臣曩に三政黨首領と會し親しく對支外交に關し前內閣の方針を變改したる顚末を告ぐるや兩黨の首領は孰れも現內閣の新に執れる方針を以て是なりとし贊成の意を表したり然るに單り前內閣の與黨たりし一首領は毫も從前と異なりたる所なしと稱し後に至りて世上に揚言せり斯くの如く更に事實を附會するのみならず前內閣員たりし一員は貴族院に於て國交上重大なる關係に就き容易に與相を公表し難かりし外交の方針に關して說明を求めたるに當時衆議院公開の議席に於て之に策應し切りに追窮の態度を執るに至りしを以て政府は已むを得ず秘密會を要求し最も國交上に支障なしと認むる最小限度に於て事件の顚末を內示したり之等の事實は前內閣の與黨たりし政黨の挑發に係るものにして殉中一片國家を愛ふるの誠意を有せず唯政權の爭奪を維れ事として現內閣の非難攻擊に汲々たり（中略）本大臣は君國に忠實なる同胞七千萬の公衆が必ずや現內閣が赤誠國事に盡瘁するの微衷を諒とし漫りに詭巧の說に惑はず識誣の言に動かず一意國家の爲め適當なる選良を簡出し以つて皇基を千歳に定め國光を中外に宣揚せん事を期して疑はざるなり政府は不日行はるべき總選擧に際し其の監督を嚴正にして法規を勵行し國民の自由意思を尊重して選良の目的を貫徹せん事を期す（中略）選擧取締の事に就ては內務大臣及び司法大臣より詳密に亙り訓示する所あるべし各位幸に現內閣誠意の存する所を諒せられ深く思を時局に致し國家の爲め冷靜努力あらん事を翹望して已まざるなり（參照として首相の第三十八議會に於て爲せる施政方針演說及び不信任案に對する首相の演說を添附せり）

◎佳節と宮中祭典

十一日は紀元節に付宮中にては御恒例に依り皇靈殿に於て御祭典を豐明殿に於て御酒宴を開かせらる（東京特電）

□聖上還幸

既報の如く天皇陛下には十一日の紀元節御親祭並に各皇族內外臣僚に饗宴を賜はる爲め十日午前九時十五分相州葉山御用邸御出門侍從長同武官長宮相其他の供奉にて同五十分逗子驛發臨時特別列車に召され十一時十分東京驛著御奉迎の伏見宮殿下一條九條德川各公爵東郷井上各元帥寺內首相其他の文武官に拜謁を賜はり熙民堵列奉迎裡に御機嫌麗はしく宮城に還幸あらせられたり（東京特電）

◎文武官敍位

十日宮中南溜間に於て敍位式を行ひ大迫陸軍大將以下九百九名の文武官華族に對し位階陞敍の御沙汰ありたり其の重なる者左の如し（東京特電）

從三位勳一等功二級 軍事參議官陸軍大將 大迫尙道
從三位勳一等功二級男爵 海軍々令部長海軍大將 島村速雄
敍正三位（各通）

◎法官會議終了

司法官會議第三日は十日午前十時司法省內に於て開會法相の訓示に次き種々打合せする所あり正午休憩午後引續き協議を爲し五時より一同首相官邸に赴き首相より一場の訓示ありて散會之にて終了せり（東京特電）

◎兩鐵道運輸契約

北田山東鐵道理事談

今回辭任せる北田山東鐵道理事は十日午前九時入港の西京丸にて歸來せるが其の談に曰く去る二月山東鐵道を代表し北京に於て津浦鐵道との貨物車交換聯絡輸送の契約を締結したるが實施は來る四月なるべし此の聯絡輸送は我國鐵道にては初めての試みなりと（門司特電）

◎奉天の金融界

一見當なりしもの下旬には百二元以上に上り[illegible]

◎高等土地調查委員會改制

高等土地調查委員會官制改正に就ては曩に略報せしが改正案は目下秋山參事官携帶の上法制局と交涉を重ねつゝあるも由にて若干局內に議論ある模樣なれど結局原案通過せらるべく勅令として公布の運びとなるべし

◎一月關稅收入

一月中に於ける朝鮮各稅關の關稅收入は輸移入稅二十八萬五千四百六圓噸稅輸移出稅五萬七千三百六十九圓諸收入其他合計三十五萬五千七百六十一圓にて之れを前年同期に比すれば出稅に於て一萬三千圓の增收となるも入稅噸稅は四萬二千圓の減となり差引二萬九千圓の減收を示せり

◎京城手形交換

一月中に於ける京城手形交換所の手形交換高は枚數三萬五千百二十四枚金額八百十四萬八千六百三十二圓にして之を前年同月に比すれば枚數八千六百枚金額二百八十五萬圓の增加となり更に前々年に比すれば枚數は約二倍金額約二倍半の激增を示し居れり

◎客月仁川財況

▲金融狀況 臘末の繁忙も案外平穩裡に越年したる新春は尙精米の抱注文も殘存し大豆も內地品滯にて移出相當ありたるも新年の事逆遁に市況平穩にして歲末決濟資金の回收は順調に行はれ銀行券は二十五萬五千圓の回收超過を示せり米價は初め阪地好調なりしも央頃より不味に陷りたるを以て移出漸次に不勢を呈し船腹不足の聲は漸く緩和せらるゝに至り滯貨は漸減を來せり隨つて金融も幾分引緩みの態なりしも鮮支人側は舊正節季前とて各種決濟資金の需要多く此方面の資金は流動繁忙を呈せり下旬に入りては舊正休日に際し市況閑散恒例の月末小需用の外目星しき材料なし金融は玆許小康の裡に越月せり今當地四銀行月末帳尻に徵し前月末に對比するに預金に於ては三十六萬八千餘圓を增加し貸出に於ては十七萬一千餘圓を減少せり來月にも入らば亦多少の緊縮を見る可きも大勢は漸次緩漫に向ひつゝ有り

▲貨物集散狀況 米は年明け後も寒威凜烈にして各地結氷せると爲め舊正前なるにも拘らず搬入杜絕し市場の賣物少く相場は月初め神力內地相場下辷り勝にて不味となれる上玄米十二圓二三十錢を唱へたるも精米口は買進み少く月末は二十錢方下押せり大豆は相變らず品捺れにて相場は手堅く月末龍山大玉八圓六十錢を唱へたり月末在庫は玄米一五六、〇〇〇叺白米一一、〇〇〇大豆四七、〇〇〇等總計二四七、〇〇〇個にして前月末に比し約四〇、〇〇〇個を減少せり輸移入品は舊正前半月は綿布類の賣行好調を示し其他糖粉油炭等の日用品も高値賣行ありたるも後半は舊正一段落にて小休の姿に陷れり（仁川支局）

◎商銀臨時總會

朝鮮商業銀行にては二十四日午後四時より光化門通明月館樓上に於て臨時株主總會を開き增資に關する件を附議することゝなれり會議の目的事項左の如し

第一、資本金增加の件

甲、當銀行現在資本金五十七萬五千圓に金四十二萬五千圓を增加し資本總額を金一百萬圓と爲す事

乙、方法及手續

一、增加資本金は之を八千五百株に分ち一株の金額を五十圓とし之を新株とす

二、新株一株の第一回拂込金額は金十二圓五十錢とす

三、新株は大正六年二月二十四日現在の株主（政府を除く）に對し其所有株一株に付新株一株の割合を以て優先に引受けしむ但不足數三百二十一株に對しては按分を以て之を定め一株未滿の端數に就ては其處理方法を取締役に一任す

四、株主中引受拒絕あるときは他の株主に引受しむ尙剩餘あるときは一般に募集す但成るべく重役に於て引受くること

五、證據金は一株に付金二圓五十錢とし株式引受と同時に之を徵收する事

六、前記諸項の外新株の募集に關し特に議決を要する事項は之を重役會に一任する事

第二、定款變更の件

一、第三條左の如く改む
本銀行の資本金は一百萬圓とす

二、第七條左の如く改む
本銀行の株式は二萬株に分ち一株の金額を五十圓とす

尙ほ同行株主の資格に關しては從來朝鮮人にのみ限らるゝ旨其筋よりの通達ありしも右は舊大韓天一銀行時代の通牒にして其後共同倉庫會社と合併し朝鮮商業銀行となりし今日內鮮人間に何等區別を設くるの要なき旨當局より通牒あり今後は公然內地人の株主を認むべく從て名義書換の如きも自由なりと

◎軍司令官日程

秋山軍司令官は竹內高級副官小野大尉を隨へ十五日發南鮮部隊視察の途に就き二十四日歸任の筈なるが其の旅行日程左の如し

▲二月十五日 午前八時四十二分龍山發、午前十一時三十五分鳥致院著、午後一時鳥致院發、午後五時忠州著

▲二月十六日 午前九時より忠州守備隊視察忠州滯在

▲二月十七日 午前十時忠州發、午後三時鳥致院著

▲二月十八日 午前十一時三十五分鳥致院發、午後二時四十六分金泉著、午後三時金泉發、午後五時尙州著

▲二月十九日 正午尙州發、午後二時金泉著、午後七時五十六分水原著、此日午前九時より尙州守備隊視察

▲二月二十日 午前九時水原發、午後三時頃利川著

▲二月二十一日 午前九時より利川守備隊視察

▲二月二十二日 午前九時利川發、正午原州著、午後二時より原州守備隊視察

▲二月二十三日 午前九時原州發、午後四時頃水原著

▲二月二十四日 午前九時より李王家牧場視察、晝食後勸業模範場視察、午後五時三十八分水原發、午後七時四分龍山著

◎浦鹽航路開始期

客年十二月末より休航せる朝郵汽船の浦鹽航路は來る三月二日を以て初航海を爲す筈なり

◎慶南陸地棉作

本年度陸地棉作田別は一萬六千餘町步の豫定にして不日棉作組合農民に種子の配布をなす由收穫豫想は一千萬斤以上に達する見込なるが故に出願中の鈴木商店に繰綿工場を許可するの運びに至りし由（釜山）

◎關釜連絡船缺航

十日朝下關發聯絡船壹岐丸は海上風波の爲め途中より引き返したるを以て從つて十一日午前釜山解纜の聯絡船は欠航すべく又一般郵便物も一日延着すべし（釜山特電）

人事消息

▲森安連吉氏（總督府醫院內科部長） 十日朝東上
歸任期未定
▲池內中尉 十日京城に向ふ
▲關泳綺男 九日夜大田より歸京
▲富士英氏（京城駐在領事） 十日夜東京より歸任
▲高田知雄氏（西洞公朝鮮布敎監督者） 十日夜
歸京
▲宮崎道之助氏（京城府廳學務課長） ▲平松牧氏
（同技手） 十日夜京城
▲小川德長氏（工業家） 同上
▲太田三郎氏（鮮銀大連支店長） 十日夜入京朝鮮ホテルへ
▲スミス氏（英人） 同上

◎林公使歸朝

敢て多くを語らず

林駐支公使は十日午前九時釜山著船西京丸にて靑島より門司著下關山陽ホテルに投宿一泊の上十一日午後七時十分同驛發列車にて東上約一箇月滯京の豫定なるが其の談に曰く『支那の政界は目下頗る平穩にして過般我議會解散の際は大に之を歡迎したり日支親善は昔より唱へられ今更事新らしく言ふべきものに非ず云々』記者は更に『其の實績如何』と質したるに公使は『日々新なりと言ふの外なし』とて多くを語らざりき（門司特電）

◎肅親王令息來朝

旅順に假寓せる肅親王の令息六名は今回我國にて敎育を受くる事となり松村甚太郎氏に伴はれ十日午前商船嘀備丸にて大連より門司著直に東上せり（門司特電）

◎朝鮮農民保護

奉天總領事館にて調查

滿洲に於ける朝鮮農民の保護方法に就き奉天總領事館にては先づ之が調查を爲すこととし其の結果關東都督府及び朝鮮總督府と協議の上具體的成案を樹つる筈なり（奉天特電）

◎南滿經濟狀況

客月中[illegible]
も豫想以上圓滑に越月したるが尙解氷期と至らざれば著しき資金の需要は見ざる可く又[illegible]
[illegible]南滿一月末三銀行預金[illegible]は左の如し（續位）大正五年一月末[illegible]

◎南言北語

米獨の國交斷絕で一番困つたものは駐米獨逸大使ベルンストルフ君であつた▲ソレ歸れと旅券は渡されたが汽船で行けば英佛艦隊が大西洋上で睨んで居るから捕虜となる虞れがある▲さりとて此の儘居据りも出來ぬ▲殊に大事の奧さんは米國人であるから其れでは私も御一緖にと氣輕くお伴を仕相にもない▲一層の事南米伯剌加へでも行かうかとも相談があつたらしいが▲流石の辣腕家も今度と云ふ今度は非常に困つて居るらしい▲其れかあらぬか獨逸では例の手を出して駐獨米國大使ゼラード君や在獨米國人を抑留して▲ベルンストルフの安全歸著迄は生捕の人質にした相な▲斯うなつては商船擊沈位の騷ぎぢやないウヰルソン大統領も正義人道上から何とか最一とつ考へを付けなければなるまい▲獨逸は何といふても挑戰的だサー益々米獨間は問題が大きくなつて來たぞ▲人を見て法を說く妙は當世濱侯に及ぶものはあるまい▲早大の學生が吉例學生大相撲をやらうといふので優勝旗を先頭に續々侯爵邸の玄關に繰込んだ▲老侯好く來たとばかり代表者を引いて一場の訓話を聞かせた▲侯の曰く仁者も勇が缺けてゐては可けない仁義勇は暴虎馮河の勇ではない仁義勇道と合致する所に眞勇の意義がある▲相撲道の元祖野見宿禰は鐵勇當麻蹶速を倒した程の眞勇者だが一面に於て殉死を禁ずる建策に仁を體現した▲後裔に至つて菅原道眞出で文獻に盡した▲不肖重信は此遠祖と中祖の遺烈により大に智仁勇を發揮するつもりであるが力が足らないから諸君の扶助を希ふ譯である▲支那では智仁勇と云ふけれども日本では勇を第一とし智仁を併行ひたい▲獨帝ウイルヘルムの如きは勇あるも智仁に缺けて居るから世界の覇者として優勝旗を戴く柄ではない▲諸君も須らく勇を第一とし智仁を併顯して優勝旗を辱かしめないで[illegible]大がありたいとやつてのけたので學生連恐く感心して終ひやつぱり親爺は豪いな

□紀元節

—五の日十の日會—

紀元節の雛ながらの酒すぎ 浮碧樓
○
紀元節の雛ながらの酒 華虹
○
山の雪襞も紀元節の晝すぎ 芳草樓
○
木原照らす紀元節の烟白 鳥堂
紀元節する兎山さよもし

□定例休刊

十一日は紀元節に付き同日發行の夕刊並に翌十二日發行の朝刊は定例休刊とす

◎取消 十日朝刊第二面電報欄中「陸軍異動近し」の東電は不審の廉あり爰に取消す

久津見蕨村先生譯
基督敎罪惡史
四六判總假名 定價一圓卅錢 郵稅八錢
東京小石川區原町六六 振替東京一五六八六 丙午出版社

眞宗門か邪宗敎か 高野萬里著 生ける宗敎
文明の進步を助け人類の幸福を增したる宗敎か將又之を防げて人を虐殺し殘害したる宗敎か請ふまづ基督敎に對する眞宗敎國民の叫ひを聽け法王と敎會と新敎と舊敎と科學と人生と交互參差して爭鬪を極めたる史實宛然として一大パノラマを見るが如し▲ゴルハム先生原著 價金四十錢 郵稅八錢 京城 振替二五七三番 電話六八四・二〇八六番 大阪屋號

內地塊炭 撫順塊炭 無煙煉炭 商 京城西小門通 西崎商會 電話七二七番

專門雜誌 活動寫眞 活動之世界
▲人情劇 招の舞 ▲人情劇 喇叭卒 ▲活劇 マチステ
口繪二十四頁（三月號）
連續寫眞號 紙數增加 內容一新
本文二百四十頁 ▲井上正夫論 當選發表 ▲米國連續寫眞總覽
東京本郷區湯島切通町一番地 活動之世界社

京城電氣株式會社製品 朝鮮瓦斯電氣株式會社製品
コールター 一手販賣 巴商行 樋口米太郎 龍山漢江通八番地 （電話四三四番）
石材販賣（但し弊所持出） 久保田鐵工所代理 神奈川電氣株式會社代理
鐵鋼其他鑄造製作 同 工場
京城黃金町三丁目三四〇番（電話一四二五番） 同 支店

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著 改訂增補第三版
朝鮮不動產商業 登記申請書式心得
●紙數四百八十餘頁 ●代價金壹圓 郵稅拾錢
旣に再版一萬部を賣盡し尙各方面よりの注文盛なるを以て此の甚大なる江湖の大歡迎に對し更に改訂增補玆に第三版を發賣するに至れり抑登記に關する知識は本書に說き盡して餘蘊なし
不動產登記の部には土地調查に關聯せる登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀、登記に關する印鑑證明願、改印屆、保證書、契約書、土地擔保目錄雛形等を揭げ加之官通牒、其他の參考となるべきものは總て各書式の末尾に之を揭記し又疑義を解釋して五十餘件を登載し且建物、地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり
商業登記の部には商號、未成年者、妻、法定代理人、支配人及各會社に關する書式等併せて明瞭にし一讀何人にも了解し得べき程度に之を編纂せり
賣捌元 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
取次所 京城本町二丁目 大阪屋號書店 電話二〇八六番 振替京城二五七三
京城太平通一丁目

●萬年筆即時修繕 京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

新築移轉 明治町二丁目 產科婦人科專門 中央婦人病院 院長 電話一三四〇番

十一……末には三十七円四分の一を報せ從一と小作商の爲め何れも從來買付け品……て京洋發相場又氣配強く上旬百五元の輸送に忙殺せられ新規取引は極……休止の狀態……は頗る沈靜せり由來支那側に於ては大節季明けには必ずや多少の破綻者……僅かに錢莊一戸と二三戸の雜貨舖附のみにて越月せり終りに臨み日本側……月したるに止まりしが十七日（陰暦）四銀行の帳尻を昨年同期と比較すれば……

□今日しも大内山に
畏き大御祭りの儀
嚴しく、神々しく、照らけく

紀元節の御儀は宮中に數ある御祭典のうちにても殊に嚴しく神々しく照らけく執り行はせ給ふぞ承る

◇此日午前八時より式部の諸員御殿の御裝飾を奉仕しやがて著床御開扉を仕り調理の神饌、飯、餅、海魚、川魚、鳥、海菜、野菜、菓、鹽、水（御盃）及び酒二瓶を供し奉り此の間神さびたる神樂あり畢つて、祝詞を奏し次で神饌を撤し閉扉す此の間再び奏樂あり之れにて御朝祭を畢り御親祭は午前九時より式部職官著床して皇靈殿を開扉し調理の神饌、飯、餅、海魚、川魚、野鳥、水鳥、海菜、野菜、菓、作菓、鹽、水（御盃）以上十一臺及び酒二瓶を供し

◇御幣物には紅白絹各三匹晒布三匹を供す此の間また奏樂あり次で親王、王殿下、大勳位、親任官、公爵、從一位、勳一等、一等官、侯爵、正二位二等官麝香間祗候、錦鷄間祗候の著床あり 天皇陛下には午前十時御束帶にて出御あらせられ御玉串を奉り給ひ御拜、御告文を奏し給ひ次で賢所御拜あらせらる、御鈴の儀あること恒の如く畢つて入御あらせらる、次に皇后陛下御玉串を奉り給ひ御拜畢つて入御あらせらる、次に皇太子殿下御玉串を奉り

◇御拜畢つて御退下 あらせられ次で親王、王殿下を始め奉り著床の諸員宮內省奏任官掛判任官の拜禮ありて後御幣物及び神饌を撤し閉扉す此の間奏樂ありこれにて御親祭を畢り正午より百官の參拜あり共の次第は正午より式部職官著床して開扉同時より午後一時まで伯子男爵從二位以下及び勳二等以下神佛各宗管長、奏任官、准奏任、奏任待遇並に門跡寺院住職の參拜を許され午後一時より二時まで判任官、准判任、判任待遇の參拜を許さる、

◇夕の御祭典ありて 更に 午後五時より式部官著床して神饌を供す此の間奏樂あり次で祝詞を奏す午後五時三十分 天皇陛下出御あらせられ御拜畢つて入御あらせらる次で掌典、賢木の枝を人長に授くれば人長は賢木の枝を受け鏡に持ち添へて御神樂の舞ありて神饌を撤して閉扉し奉り此の間奏樂ありいとも嚴そかなる紀元節御祭典を畢り奉るとぞ

今日宮中に奏せらるゝ久米の舞

□奏し奉る久米の舞
豐明殿に尊き古例を聞きて

天皇陛下には本日正午より各皇族方を始め奉り內外諸臣に酺宴を賜ひ又

▽諸臣の參賀 を受けさせ給ふ當日親王王殿下大勳位親任官公爵從一位勳一等一等官侯爵正二位二等官麝香間祗候錦鷄間祗候各國公使等の內外貴紳は午前十一時四十分參內し正午十二時より御陪宴の榮を賜ふ御宴開かるゝや 天皇陛下には此の嘉節に當り百官及び各國使臣と

▽祝宴を開く ことを欣ばせ給ふ旨の勅語あらせられ總理大臣より群臣代表し皇祚の無窮ならん事を祝し奉る旨を奏答し首座大使より各國大公使を代表して祝辭を奏答し奉る恒例なるが酺宴に際しては式部職樂師樂手は神武大帝の御偉業を偲ばせ奉る當國の光景を髣髴せしむる久米舞の

▽古樂を奏す 久米舞は實に神武天皇御東征の途次大和の宇陀に兄宇迦斯、弟宇迦斯の賊を討ち大久米命殊勳を奏し更に忍坂の大室に於て土雲八十建を討ち作戰酋謀は背腹に擬して小刀を佩き歌を合圖に之を誅し後ち登美毘古長髓彦といへる賊魁を討つ時、皇軍の歌へる

▽軍歌にして 歌詞は

▲御稜威御稜威し、久米の子等が、粟生には韮一莖、其根が莖、其根芽繫ぎて、討ちてし止まむ

▲みつみつし、久米の子等、垣もとに、植ゑし椒、口疼く、吾れは忘れじ、撃ちてし止まむ

▲神風の、伊勢の海の、大石に、這ひ廻ふ細螺の、這ひ廻り討ちてし止まむ

と斯くて皇軍大捷、天下茲に平定し天皇は橿原宮に御即位の大典を擧げさせられ天下を治め給ふ建國の吉祥事を記念すべき歌詞なりと

◇昭憲皇太后御大葬の繪卷物 村瀨玉田畫伯揮毫

大正三年五月廿四日昭憲皇太后御大喪儀を行はせられた當時東京に於ける御葬儀物の盛な村瀨玉田畫伯に桃山御陵御儀仗に京都上りの小石翁に御用命ありましたが村瀨玉田翁は畢生の名譽とし幾回となく草稿を改め儀式に關係した陸海軍各方面の大官、宮內官、有職故實家につき研究を遂げ苦心の作を成し丹誠を凝らしてゐられた結果全部七卷の大作の稿本は此程に至り漸く完成した由にて一卷の長さ六間全部が延長四十二間の大繪卷物となるべき筈にて御大葬青山御所御出門の光景より葬場殿迄の鹵簿、近衛兵、海軍儀仗兵、樂人、旗、弓、矢、鐃、鉦、御劍、御鏡、靈轜、乾牛附屬道具に至る迄其の解剖圖を始め上行幸の光景、皇族方を始め供奉大官其他參列の儀擬の專門家につき正確を期し描いたもので完成の上は御大禮紀念物として永く宮廷に御保存あらせらるべきものであらうとのことですが全部完成迄には尠少なくとも一箇年はかゝるだらうとの事です

●大錦横綱振
栃木山の太刀持で常陸酷似

新横綱大錦のために常陸山會は七日午後三時から相生町の出羽の海部屋で其內祝を催し大錦は其れを機會に稽古場初めて横綱の土俵入をした午後三時先づ行司式守錦太夫は

▲土俵の古實 を述べ終ると呼出勘太の拍子木に連れて錦太夫に導かれた大錦は未だ自分の化粧廻しが間に合はぬ爲師匠出羽の横綱方屋入りに用ひた紫地に月桂樹を縫現はした三筋の廻しを借りて小常陸の露拂ひ栃木山の太刀持ちを前後に新に綯つた

▲雪白の横綱 を締めて悠々と稽古場に現はれた處は體格が美事のため横綱振も却々立派で、先づ式の如く二字口に一禮して三足半土俵の中央に進み正面に向つて柏手を一つ左手の肱を曲げ右手を伸して力足を踏むこと、凧と同樣の型で思ひ做しか何處か態度の師の横綱

▲常陸時代に 似て居るのも偶然の一奇である 斯くて喝采裡に式を終つて部屋で催の餘興があり續いて稽古場に於ける模擬店三階の食堂を開き新橋柳橋葭町吉原等の藝妓が接待し賑はしく夕刻散會した（東京）

大錦の横綱振り

●發動汽船と帆船の衝突
兩船共沈沒す

慶南統營郡統營面吉野町山根慶次郎所有發動汽船五明丸（十六噸）に同人が船長として外六名の船員と共に乘組み一月二十八日統營より釜山に向け航行中同日午後十二時頃統營郡河淸面石浦里の沖合なる光伊島附近に差蒐りたる折柄全南高興郡東江面朴性守所有の帆船（百五十石積）に同里の文性在が船頭として外四名乘組みたる一隻の船に出會したる刹那俄々兩船共無燈火なりし爲め五明丸は件の帆船の上に乘上げ雙方共顚覆沈沒するに至りたるが折柄急を知りたる江西面峰谷里の濱本民之助は二隻同里申玉瑞は一隻の小舟を出し風波を冒して里民と共に現場に急航し兩船の乘組員全部十二名は辛くも悉く救助することを得たるも五明丸の積荷五千圓船體千三百圓、帆船の積荷七百圓船體三百圓は遂に流失して損害を被りたりと

●大豹を枯柴で燻し殺す

平北寧邊郡委延面水田上洞李基成方に一月二十六日午後十二時頃猛獸襲來し飼犬一頭を拉去したる模樣にて其の悲鳴に家人が起き出で見たるも其の姿見ゑざるを以て基成は翌早朝外四名の里民と協力し折柄積雪中に印しある猛獸の足跡を辿りて約三十丁を離れたる同洞北方の加峰山の頂上に達したるに一箇の岩窟あり其の入口に自家の飼犬の喰ひ殘されたる皮及び骨片あり依つて直ちに穴の口に松の木を以て柵を拵らへ約三時間枯柴を以て燻したる後五名共點火して窟內に侵入したるに入口より約十間位の箇所に稀らしき大豹一頭窒息絶命しゐたるを發見したり

●吉野町の水道鐵管破裂
附近家屋に浸水

十日午後五時京城吉野町一丁目百二十四番地若城商店前水道消火栓附近の地下水道鐵管破裂し噴水甚だしく道路は忽ち一面の水となり附近一帶の家屋に浸水せるより水道局にては直に多數の工夫を派し極力復舊工事に努めたるも連日の寒氣の爲土地氷結し居りて工事意の如くならず從つて同夜中には復舊覺束なかる可と

●洋服男の凍死

京城太平町二丁目八十番地鳥屋田中某方前の路傍に四十五六歲位土方風の內地人男一名死亡し居るを十日午前五時半頃夜警番なる北米倉町の荒井寅三郎が發見し本町警察署に屆出でたるより係官警察醫出張檢視せしが身には破れたる洋服を著し居るも遺留品なく凍死したるものと判明し本籍氏名等不詳にて屍體は京城府へ引渡せり

●鳳聲奏謠會

十一日午後零時半より大和町三丁目遞信俱樂部に於て開催番組次の如し ▲箙 菅原氏福川氏 ▲卷絹 齊藤小氏早水氏 上田氏 ▲熊野 淺川氏尾石氏 ▲鉢木 沼田氏兒島氏 ▲接 田氏判木村氏齋藤氏 氏若馬場氏遊藝氏舘地氏

●伊藤大田支局長葬儀

は九日午後五時榮町支局用植高野山布教所に於て執行され本社員總代松尾理事、愛媛縣人會總代久門建設所長並に友人總代田中實業協會書記長の弔詞朗讀ありたり大田の紳縉の會葬者無慮百五十餘名に及び頗る盛儀也き

●雲降る今日
左樣なら、日本！
出迎への記者に與へし夕翁の一詩

印度に歸國の途にある詩聖タゴール翁は十日朝英國汽船グレゴリーアプカー號にて門司著十一日朝同港發新嘉坡に向ふ筈なるが翁は出迎の記者の需めに應じて『左樣なら日本』なる一篇の詩を認め與へたり其の大意左の如し

私が此の島に來た時は、太陽が輝々として輝いて居た。

私が此の島を去る時は、空は雲に蔽はれて暗くある。

之れ翁が昨年陽春の候來朝し今日雲降るの日に日本を去るの感想を認めたるものなり（門司特電）

●四温の今日の祭日を
何處に遊びませう

苛酷な冬が頑丈な桎梏にかけてしつかりと押へて離さうともしなかつた寒氣もさすがに二月に入るとムク／＼と頭を擡げて來て四温に入つた

■今日此頃は 小川に張り詰めた氷の固まりも解けそめて日射し麗らな畑の柔土からゆら／＼と陽炎さへ立ちのぼるやうになつた、まだ春を告ぐべき何ものも見えないけれども温かい日射を浴びて郊外へ出れば未だ所々に殘んの雪こそ止めて居るが四方の山容水態何となう春めきて見ゆるも興がある

■鐵道沿線の 銃獵は京義、京元兩線の特に寒い地方は別として京城附近の驛々には久しく寒さに閉ぢ込められて姿を見せなかつた雉子が大分出て來たさうであり相當の用意さへして出掛ければ滅多に凍傷に罹る虞れもあるまじく沿線に遠征する人も多からう、獵と言へば總督官邸の裏山に

■總督府連中 の兎狩りがある、南山に登つて之れを觀戰するのも一興、動物園では冬の間萎縮してゐた熱帶地動物も大分此の二三日元氣が出て日向を背にして居睡りなどしてゐるとか博物館、植物苑、景福宮內の博物館なんどを觀て廻るもよく此の佳節の一日を久しく冬に背まれた心身を暢々と延ばして遊ばうではないか

▲中山安兵衛道善 芸名を中山安兵衛と稱し十餘年來京城に在住し各所の餘興に出演して愛嬌を賣り居りし同人は昨年十月下旬突然京城を去りしが來る十一、十二の兩日自ら命日に相當するを以て知人友人相談の上……

▲蒸仙人來る ……

▲大地調査の工藤文哉子は昨年結婚後、毎月二百匁位宛體量が殖ねる ▲普通の男子が新婦を迎へると當座は若干精力消耗の止むを得ざるに文哉子の此現象は、餘程子が非凡の體質たるを知るに足る ▲先日京城を通過した杉村公使館書記官は文哉子と同期の法學士だが ▲停車場で逢つた時、氏は『工藤さん、此頃は見違へるやうに肥えましたね、ナニ妻帶後？へゝ……』學校時代は禪坊主以上の痩せ方で氣の毒な位だつたがな—」と飛いてゐたさうな ▲前の日曜に竹葉山の卷狩で猪を打ち止た鐵道の和田暸氏に猪をどうしたかと聞くと ▲『猪は前約により總督官邸に持ち込んでゐる』と云ふてゐた ▲久し振りに京城を戀しがつて來た久龍はまた／＼九日の晩連絡船のさくら丸で母親が附添うて廣島へ歸され血相が丸で變つてゐたと釜山からの通信

えんげつ

最新刊

孔子及孔子教	服部宇之吉	一、七〇
現代都市の研究	片岡安	三、八〇
大亞細亞主義論	小寺謙吉	三、八〇
佛國研究	教育學術研究會	一、〇〇
口語法	文部省	四五
人體の現象	三澤力太郎	一、五〇
朝鮮の金鑛	町田□作	一、〇〇
模範讀方獨習	荒井忠吉	五五
是でも武士か	ロバトソン	一、八〇
英譯金色夜叉	アーサーロード譯	一、二〇
向上論	南條文雄	一、四〇
無我の生活	新井石禪	九〇
悟道の妙味	釋宗活	九〇
徹底禪	秋野孝道	九〇
鐵假面	黑岩淚香	一、三〇
福翁漫言	福澤諭吉	一、三〇
合本俠傳	伊藤痴遊	一、五〇
禪の種	湯朝觀明	七〇
家庭茶菓子製造法		七〇
總督府巡査試驗提要	永野清	特四五
法律問答	阪上納吉	四〇
全作文軌範	安達大壽	四〇

大阪屋號書店 京城本町一丁目 振替京城二五七三番

生徒募集廣告

本科第一學年生徒約百名右募集ス志願者ハ本年二月二十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ尚詳細ヲ知ラント欲スル者ハ本校又ハ平安南北黃海三道道廳内ノ公立普通學校ニ就キ詳知スベシ

大正六年二月十一日 平壤高等普通學校

京城府告示第三號

來ル十一日紀元節ニ付當廳ニ於テ御眞影拜賀式擧行候條同日午前九時三十分ヨリ同十時三十分マデノ間ニ於テ府民一般隨意拜賀セラルヘシ 但服裝ハ『フロックコート』若ハ紋付羽織袴トス朝鮮人ニアリテハ相當敬意ヲ缺カサル服裝ニテ差支ナシ

大正六年二月九日 朝鮮總督府府尹 金谷充

御德用堅薪

カマド、オンドロ、ストーフ用 本月中十貫目に付 金三十錢 外に配達賃 五十貫以下 五錢 十貫に付 廿五錢 五十貫 四十錢 百十貫

京城南米倉町九十三番地 佐藤平治 京城本町四丁目櫻井町入口 安薪販賣所

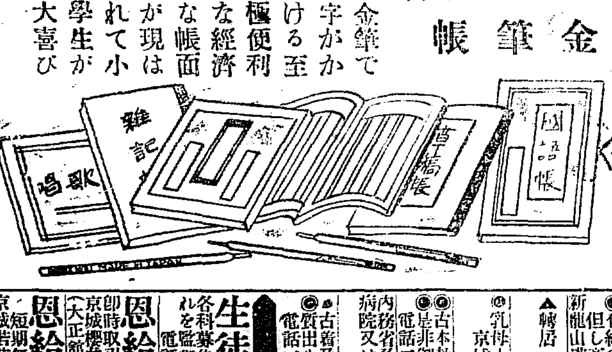
醬油と味噌に漬物

營業科目 醬油醸造元 都味噌製造元 都奈良漬製造元 都田麩製造元 都福神漬製造元 地漬澤庵製造元 山口澤庵發賣元 東京澤庵發賣元 支那白菜漬製造元 其他各種味噌類各種漬物類 佃煮、鹽辛、類直輸入卸商

京城岡崎町（電話九〇三番） 嶋屋本店 同附屬工場 京城北米倉町 市內販賣所 電話三三〇番 振替五七〇番

内外科 小兒科 花柳病科 入院隨意 京城長谷川町 安東病院 電話七三番

金筆帳 金筆で字がかける至極便利な經濟な帳面が現はれて小學生が大喜び



朝鮮總特約店 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五番二七七四番 振替京城二五六番

京日案内

普通 一回前金 五十錢 一番外 一回前金一拾錢 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通 ◎融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替 御報伺又は御來談 京城大和町三の三二（柄澤前）起木屋 153

◎有給の御方に低利信用融通 但し商人の方は有給者の要保證 新龍山漢江通六番地七二號 伊勢屋 151

▲轉居 京城西小門町二二七番地 三浦有彝（南大門小學校裏手） 155

◎乳母入用 京城南米倉町二〇五番六三 電話九〇八番 土井 157

◎古本熱心高價買入 ◎是非御試賣を乞ふ 電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 ▲普扉 群書堂 128

內務省免許産婆 年廿五 實地經驗あり 病院又は開業産婆に雇はれたし（姓名在社） 157

◎古着及洋服御不用品飛切高價買入 ◎質出も致升 京城旭町二ノ七四 電話二四六六番 淺野商店 136

番外 生徒募集 規則書贈呈 本科專修科撰科の各科募集す寄宿舍の設備あり教師之れを監督す 京城府三角町九一 電話二八二七番 實修裁縫學舍 139

恩給年金立替 利子年一割 即時取引 退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町 元祖（大正館向） 博多屋本店 124

恩給年金立替 利子極安 即時取引 短期無保險 京城若草町一七二（金光教裏手） 電話三三九一番 國江商會 127

◎礦物定量分析 太平町二丁目 二二五番 朝鮮公論社 館長 三三四四 左横小路 坂元分析所 130

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

七十六 操の一念『十四』の八

「正當防衛です、無法な奴には無法な手段で防禦するより仕方がないぢやありませんか、命が欲しけりや、その娘を置いて行くが可いでせう。」

松崎も、今は破れ破れであつた。拳銃を差上げて、銀さんを狙ひ打ちに打たうと爲る氣勢を示した。

「はゝゝは、口ほど重寶に出來てるものはねえね、他人の娘を盗み出して來て、理不盡にせしめ付けやうと爲る其方が無法か、それを見かねて顧けて行く此方が無法か、鷺が黒いか、烏が白いか、胸に手を當てゝ考へて見てから、拳銃を放すなり出刄を振廻すなり、氣に濟んだやうに爲なさるが好い。きツ、お絹坊、うぢ〳〵してる事はねえ、ずん〳〵戸外へ飛出して了ひねえと云ふに。」

銀さんは言ひ捨てたなりで、振向きもせずに絹代の手を引張つて、三四段梯子を降りかゝつた。

「ちよつ、癪に觸る三ぴんだ、どうするか見て居やがれ。」

松崎も、到頭怺へがたくなつて拳銃の引金に指を掛けるの巳むなきに至つた。初めは勿論威嚇の了簡であつたのが、銀さんに衾し返された結果、一時に赫つと逆上せて了つた。

ズドン一發、場所柄に似ぬ凄まじ響きが、耳の鼓膜を劈くと齊しく白烟はパツと階子段の昇り口に渦き立つたのである。

「たつ、大變……松崎さん、貴方そんな事をなすつちや不可ませんよ。」

女將は血眼になつて、松崎の背後からいがみ付いた。

當の敵の銀さんも、流石拳銃の音には吃驚させられたには違ひなかつたが、おやツと思ふ刹那に、彈丸は運好くも腋の下を通り越して、彼方の板壁に打付かつたらしいので、思はず哺と冷汗を流した、けれども可愛さうなのは絹代であつた、彼女は驚愕の餘り、きやツと悲鳴を上げて梯子段の中途から眞鞠の如く下へ轉げ墜ちたのであつた、その途端胼腹でも打つたのであらう、うむとばかり其の場に卒倒して了つた、爲めに銀さんは自分の身代りに絹代が斃れたのではあるまいか知らとトチ迷つた位である。

「危ねえ〳〵、こんな所に長居は恐れだ。」

銀さんは、もう一生懸命であつた第二發目でも見舞はれてはと思ふので、人事不省の絹代を横抱きに引抱へた儘、格子戸の外へ飛出さうと爲ると、銃音に驚かされて、近所から驅け寄つて來た子供や耻者や、裏長屋の山の神連が、うよ〳〵と波を打つて、『拳銃のやうだが、何だらう』とか、『確かに此の女主關の家の二階らしいが寡婦さんが豐夫心中したんでもあるまい』とか好勝手の下馬評を爲て居た。

銀さんは、何にも關はず、群集を掻き分けて闇から闇へ、路次から路次を回り巡つて逃げ出して了つた。

入れ替つて、最寄の交番から巡査が遣つて來たのであるが、種が人百倍も鋭くて狡猾くて、そして如才なく出來上つて居る松崎は、『實は今、忍み半分、護身用の拳銃を掃除しやうと爲て一發過つて打出したまでの事です』と平蜘蛛の如く詫び入つて了つたので、人品が人品なり眼前の怪我人のあつた譯でもないので、巡査も譯事なしに只、住居職業姓名等を手帳へ書き止めた丈で立ち歸つた。

「女將、濟まんかつたね。僕も仲心から打殺すたと云ふ氣ではなかつたが、つい激昂の極に達して居たので飛んでも心配を驅けたよ。」

「いゑ、なに、その事はまあ怪我人も出ずに濟んだんですから、今となつて見りや、何だか活動寫眞の一場を見物したやうな氣持が爲てゐるだけです、けれども貴方が折角の骨折が無に歸して了つたので、本統にお氣の毒樣ですわね。」

「まるで、紫の油揚を鳶に浚はれたやうなものさ、松崎兼吉の女逆も、此處まで曲つて居やうとは思はんかつたね。そりや然うと、彼の棟梁の奴め一體女を何處へ連れて失せたんだらう。」

「然うですね、乾度今頃は自分の宅へ連れて行つてるに違ひないでせう。操の一念が通つて目出度いとか何とか云つて二人で一杯飲み直して居るかも知れませんよ。」

「實に考へても忌々しい奴等だ。」

敗軍の松崎は只苦りきるの外なかつた。

齒科 橋本齒科醫院 南山町三丁目巴城館上電話二九三〇 齒科醫學士 橋本淸次郎

坊がよろこぶ 木村屋パンに 添へてやりましよキヤラメルを (京城明治町 電一八七〇)

內科 小兒科 婦人科 京城醫院 本町二丁目浦尾旅館前電話七四二番 村上憲佑

□大田淵南吟社(第二十四回)例會句集 ─二月三日於梧堂─

霞

霞む島の漁村騷げり鬪鬪船　待宵
由緒誇る一村眠りて山霞む　同
下舐廣々と明ふに霞む解哉　同
千碓響く霞動かす山羊啼り　桃雨
呼べば對へ關門の山や初霞　同
島人の汲汲む馴や沖霞む　淡水
打あてる鍬の石火や畑霞む　可硯
隧道の行伐る音や山霞む　同
借一人乘せて畜舫の霞み舟　紅星
馬の子の乳追ふ畑や草霞む　十市
霞晴れて拾ふ矢文や橋下　十亭
霞む御堂の鉦そゞろ高野杉　雅溪
連翹

連翹や蓑鷄の收支低はず　風骨
園菩指南の門低き垣連翹咲く　同
連翹や佛花も萎れる團子荒　松
連翹や風なくて上る　同年
　桃雨
　雅

連翹や地玉子ありと女文字　同觀
日の丘の一間茶店や連翹花　可星
素人質を針斷の妻や連翹花　紅星
連翹や地軸の井水汲む比隣　同
潮瀦る海士町垣や連翹花　風骨

節分

人もなし鬭さしたる羅刹門　十
節分や怪しうゆらぐ厠の灯　紅
母と娘の貧しき豆や鬼は外　雅
侈さと踏星の姣札見立ち　同水
冠木門の奥に紙燭や追儺式　淡水
十字路の揃吹竹や追儺の夜　同亭
城門を明けて追儺の御式哉　十
一握り豆投げこむや女部屋　同
百鬼の主の手分や豆撒けり　風骨
節分や禮間の闇に鬼滯む　同

春雨

慷に太る鳥の指や春の雨　十重
春雨や烟草の濕める塗小屋　同
春雨や茶店徒に湯のたぎり　不
春雨や京の旅館の名所圖繪　雅
春雨や藏作に厭く酒をよぶ　待
春雨や二階と語る老舗　淡
針の手に眠氣を誘ふ春の雨　同
春雨や湯札遣ひに素戻りす　風

野燒

野地開く野火に山燒けり　松
燒山や火田を追ふて移住民　東
燒山や蕎麥の實入に流の代　青
燒き靈さ京路の山や水港る　青
燒のころ廣野の烟や火の話　同
門口や野燒見つゝの商話　紅
兵一騎燒野過ぎるに流る陽　十
三笠山燒跡深し遠近し　春
雨二日遠近青む燒野哉　同
幽燒けて谷映きまくる淺の風　花
墓地まで燒くなく山燒り　同

新刊紹介

▲大陸婦人界(二月號)

▲新舊之新聞(二月號)

▲常識と科學(二月號) 科學と人道との共…

▲獨立公論(新年號) 布哇に於ける唯一の邦文雜誌にして…

▲滿蒙旅報(二月號) 資料滿の滿洲に於ける…

▲宗教(新年號) 大谷派の宗教雜誌にして…

▲家庭之友(二月號) 日本の家族制度の缺陷、處女は海老茶色たれ及び家庭スケッチ、小說其他等…

▲極東時報(二月) 海上の自由、現戰役中の巴里市政、佛蘭西の烈女、佛蘭人の角力…

▲學校教育(二月號) 分團式動的教育法に就て…

▲工業生活(一月號) 十錢東京市小石川區…

▲勞働及產業(二月號) 十五錢東京市芝區…

自然の黑髮のやうにキツトそまる!! ナイスの五大特長 ⑴タツタ二十分で染る ⑵永く保ち褪ず ⑶枕に汚點つかず ⑷却て毛の艶を添め ⑸用方至極手輕なり。價 大壜價七十錢 小瓶價四十錢 男子用價三十錢

毛染 ナイス カハラ白髮染 發賣 大阪 東京 丹平商會

寫眞 京城日報社 寫眞部

白鶴 ……東京支店

胃腸最新藥 チスケーチ

梅毒 淋病 マチスの主剤 東京府荏原郡……

懸賞語呂合大募集

語呂合題 ハカリ印のヘブリン丸

語呂合とは口合、地口の類なり

例へば一 (題)花はさくらに人は武士……(答)山ははるかに木もかすむ (題)鯱子の罰には鰤が取れる……(答)鷹子も堅けりや皆々登る

懸賞壹等百圓 以下千人迄

◎贈呈賞品

◎壹等 壹百圓(帝國公債にて) 壹人
◎貳等 五拾圓(右仝) 壹人
◎參等 參拾圓(勸業債券にて) 壹人
◎自四等至十等 白濱縮緬(壹反宛) 七人
◎自十一等至一百等 鯨筒付革賞入(壹個宛) 九十人
◎自一百一等至二百一等 最新懷中電燈(壹個宛) 壹百人
◎自二百二等至三百五十一等 古代更紗紙入(壹個宛) 百五十人
◎自三百五十二等至五百五十一等 ニツケル製文具國(壹個宛) 二百人
◎自五百五十二等至千等 製地巻煙草入(壹個宛) 四百五十人

計壹千人

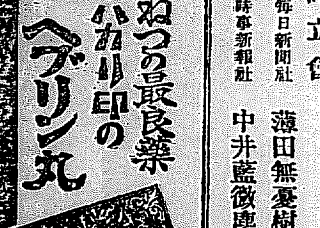
規定

◎用紙は官製はがき(壹枚壹句を限り此廣告を見たる新聞名明記の事) ◎住所氏名明記の事 ◎宛名は大阪市東區北濱一丁目ハカリ印のヘブリン丸本舗合資會社參天堂藥房懸賞係 ◎照會は往復はがきに限る ◎此規定に違ふものは沒書にする事あるべし ◎〆切來る二月二十八日着信限り ◎當選發表來る三月中旬此新聞に三等迄掲載す ◎入選千句の印刷物入用の方は發表後貳錢郵券添附あれ ◎賞品は當選發表後一週間内に發送す ◎同句類句は先着を取り同時着のものは抽籤に依る

選者 浪花 香川蓬洲先生

選評立會 大阪每日新聞社 薄田無憂樹先生 大阪時事新報社 中井藍微塵先生

かぜねつの最良藥 ハカリ印のヘブリン丸



本舗 大阪市東區北濱二丁目 合資會社參天堂藥房懸賞係

朝鮮總督府許可

人參エキス

◎內用精 效能 神經衰弱、神經痛、老衰、痳病、胸病、痔疾、子宮病、肺病、胃腸病、病後の滋養強壯劑なり

◎外用精 效能 神經痛、凍傷、火傷、擦傷、切傷、打物、腫物、瘡れた時、蟲に螫された等によし

定價 六十二錢 三十五錢 …

人參直取引大販賣所 人參エキス 朝鮮名産 滋養藥 一切 京城本町一丁目 製造本舗 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五一〇番

京城本町一丁目 津村商會人參部 電話一八七〇番

支店 龍山支店 大邱支店 釜山支店

大邱浦項間自動車時間

大塚農場自動車所 大邱出張部

金泉醴泉間自動車時間

金泉織居自動車支部

日本郵船仁川出帆

尼崎汽船仁川出帆

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 野口商會

朝鮮郵船 仁川出帆

大阪商船仁川出帆

汽船釜山出帆廣告